第2回世界のウチナーンチュ大会

報告書

Worldwide
UCHINANCHU
FESTIVAL

第2回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

第2回世界のウチナーンチュ大会

1995年11月15日(水)～19日(日)

報告書

第2回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

目　　次

グラビア ……6～21
Ⅰ.第2回世界のウチナーンチュ大会企画概要
1.大会運営の基本的な考え方 ……25
2.目的と意義 ……26
Ⅱ.総括関係
1.大会開催までの歩み ……29
2.大会実行委員会関係 ……30
①実行委員会規約……30
②大会組織概要……31
③実行委員会名簿……32
④実行委員会事務局の組織及び運営に関する規定……33
⑤実行事務局組織図……36
3.大会実施本部設置基本方針 ……37
①実施本部要綱……37
②実施本部組織体制図……38
③各部、各班の業務の内容 ……39
4.大会予算 ……45
①実行委員会94年度収支……45
②実行委員会95年度収支……46
5.寄付・協賛関係 ……47
6.ワッペン等印刷物 ……51
7.会場管理関係 ……53
①警備……53
②医療対策……53
③保険関係……54
④交通対策……56
⑤緑化整備対策……58
Ⅲ.広報関係
1.広報実施状況 ……63
2.ポスター及び印刷物、シンボルマーク、キャッチフレーズ ……66
3.テーマソング（楽譜作成、選定経過） ……67
4.シンボルマーク等取扱規定及び行催事後援取扱要領 ……73
5.キャラバン隊の行動記録（南米、北米、中南米、アジア各国、及び国内各地）……75
6.大会PR紙「世界のウチナーンチュ大会ニュース」 ……79
7.事前キャンペーン「大会まで100日」……79
8.大会を成功させる夕べ ……79
9.大会直前チラシ配布 ……79

Ⅳ.招待関係

1.大会参加者 ……83
①大会参加者内訳 ……83
②海外県人参加者リスト ……84
③招待に関する方針 及び各種招待要綱 ……105
2.歓迎レセプション ……124
3.旅行業務フロー ……125
4.査証発給の協力依頼 ……126
5.路線バス無料乗車証の発行依頼 ……127
6.県内施設割引入場の依頼 ……123

Ⅴ.ウチナーンチュ民間大使

1.民間大使の役割 ……131
2.民間大使のプロフィール ……132
3.民間大使の設置状況 ……138
Ⅵ.通訳体制……143
Ⅶ.ボランティア ……147

Ⅷ.イベント関係

1.大会スケジュール(プログラム) ……153
2.イベント概況 ……154
3.会場案内図 ……158
4.イベント別入場者数 ……159
5.前夜祭パレード ……160
6.オープニングセレモニー ……166
7.奉納芸能祭 ……170
8.ウチナーンチュ民間大使会議 ……171
①南米ブロック会議……172
②北米ブロック会議……172
③アジアブロック会議……174
④ヨーロッパブロック会議……175
⑤全体会議……176
⑥共同コミュニケ ……178
9.ワールドウチナーンチュフォーラム……180
①基調講演……180
②国際交流部会……183
③教育文化部会……184

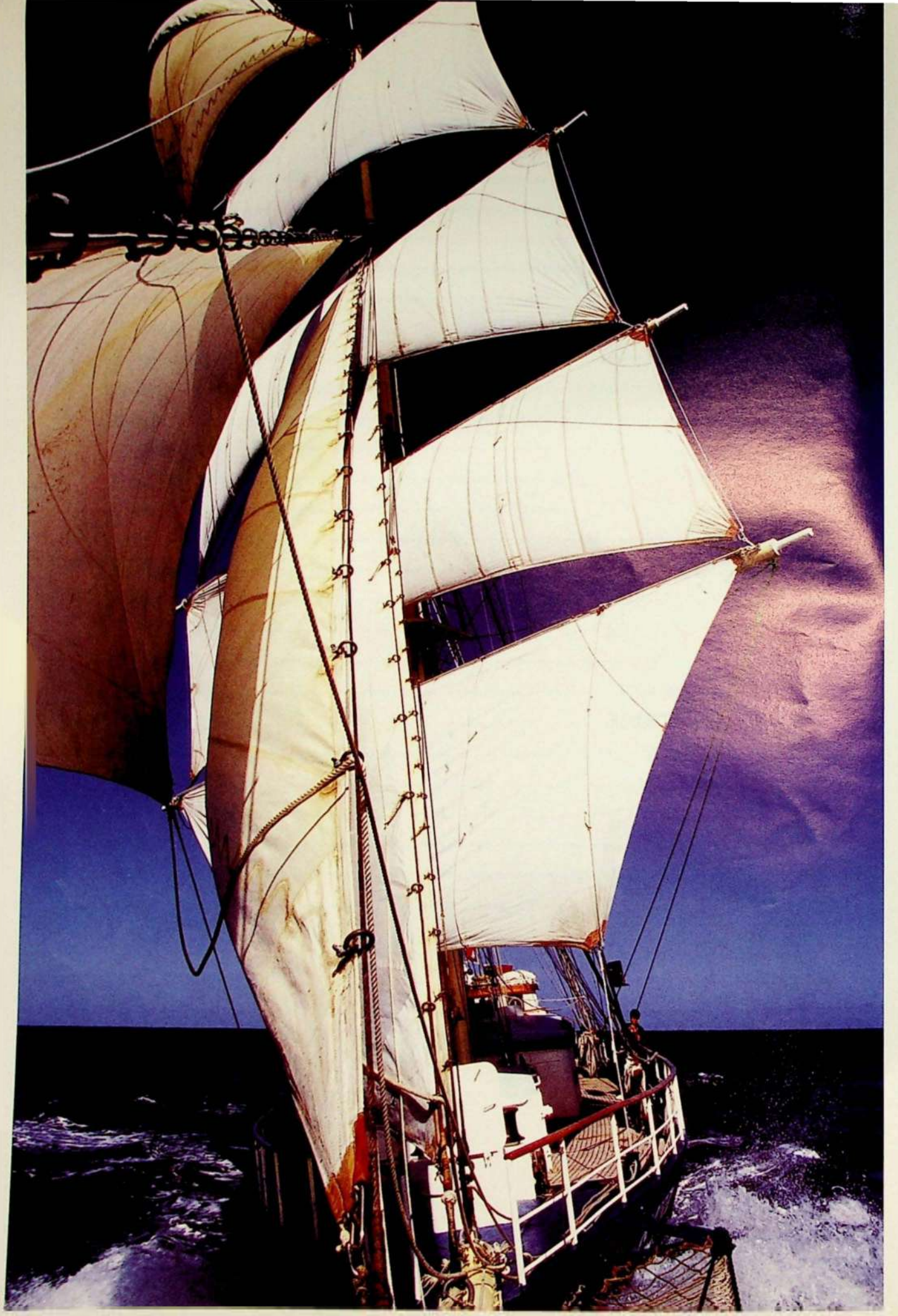
④経済部会 ……185
⑤姉妹都市部会 ……186
⑥全体部会 ……187
⑦共同コミュニケ ……188
10.ジュニアサミット ……190
11.沖縄芸能交流祭 ……192
①沖縄芸能交流祭 ……192
②ミュージックフェスティバル ……195
12.サッカー交流祭 ……196
13.国際交流ゲートボール大会 ……198
14.ワールド・ウチナーバザール ……204
関連行事 ……204
①沖縄角力大会 ……205
②御後絵――蘇った琉球王国肖像画展 ……205
15.フィナーレ ……208
16.世界のウチナーンチュ大会関連イベント ……209
①国内県人会長会議 ……209
②海外県人会長会議 ……212

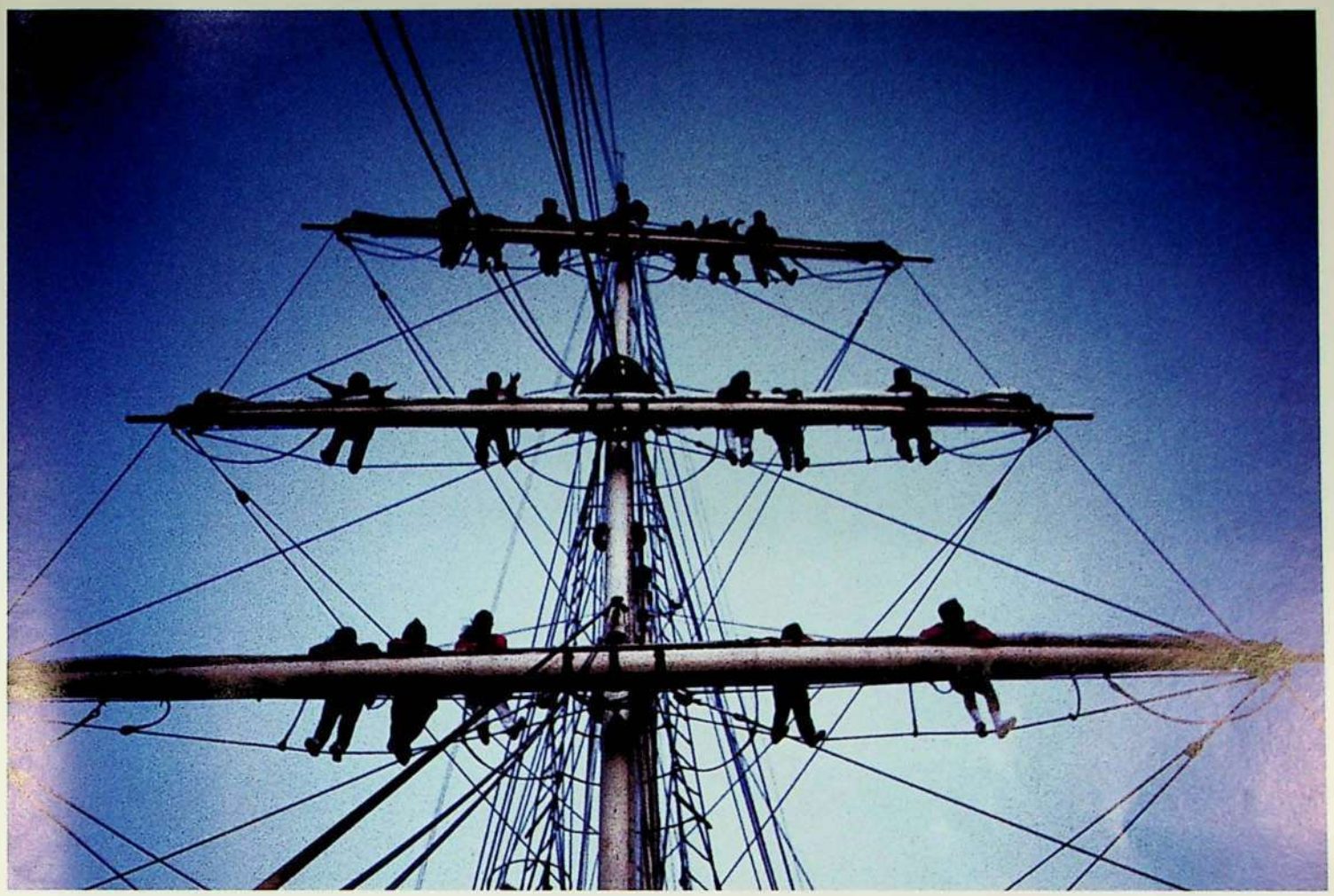
Ⅸ. 市町村のイベント実施状況

市町村イベント実施状況 ……217

【資料編】

1.世界各地の県人会一覧表 ……232
2.市町村別・国（地域）別移住者数 ……233
3.姉妹都市提携状況 ……238





第2回世界のウチナーンチュ大会宣言

私達は、戦後50周年の節目に世界各地から

海を越え、言葉を越えて、

ふるさとウチナーに集いました。

また、大きく広がる友情と交流の輪を

互いに確かめあいました。

私たちは、21世紀に向けて「共生の心」を世界に伝え、

ウチナーンチュが平和と友好の架け橋になることを誓い、

「万国津梁・平和愛好の民」としての自覚を新たに、

さらに努力することを、ここに宣言します。

1995年11月19日

ARGENTINA
HAWAII

第2回世界のウチナーンチュ大会

シンボルマーク

第2回世界のウチナーンチュ大会テーマソング

片手に三線(さんしん)を

Con el Sanshin en la mano

作詞：アルベルト城間、ボブ石原、伊狩典子　作曲：アルベルト城間
歌：ディアマンテス

遠く聞こえる　潮風は
海の彼方へ　夢運ぶ
この故郷から　旅立ってゆく
満たせぬ心　包んできた

時間はいつでも　流れている
人も景色も　変わるけど
愛する想いだけは　忘れずに
打ち勝つ心　持ち続けて

青年(せいねん)よ　三線(さんしん)持ち立ち
弾き鳴らし
世界(せかい)に向かって　共に
かりゆしぬ　船出さな

慰め合う　言葉より
三線弾いて　励ましそう
世界に目を向け　今　この時を
旅立つ心　光　あびて

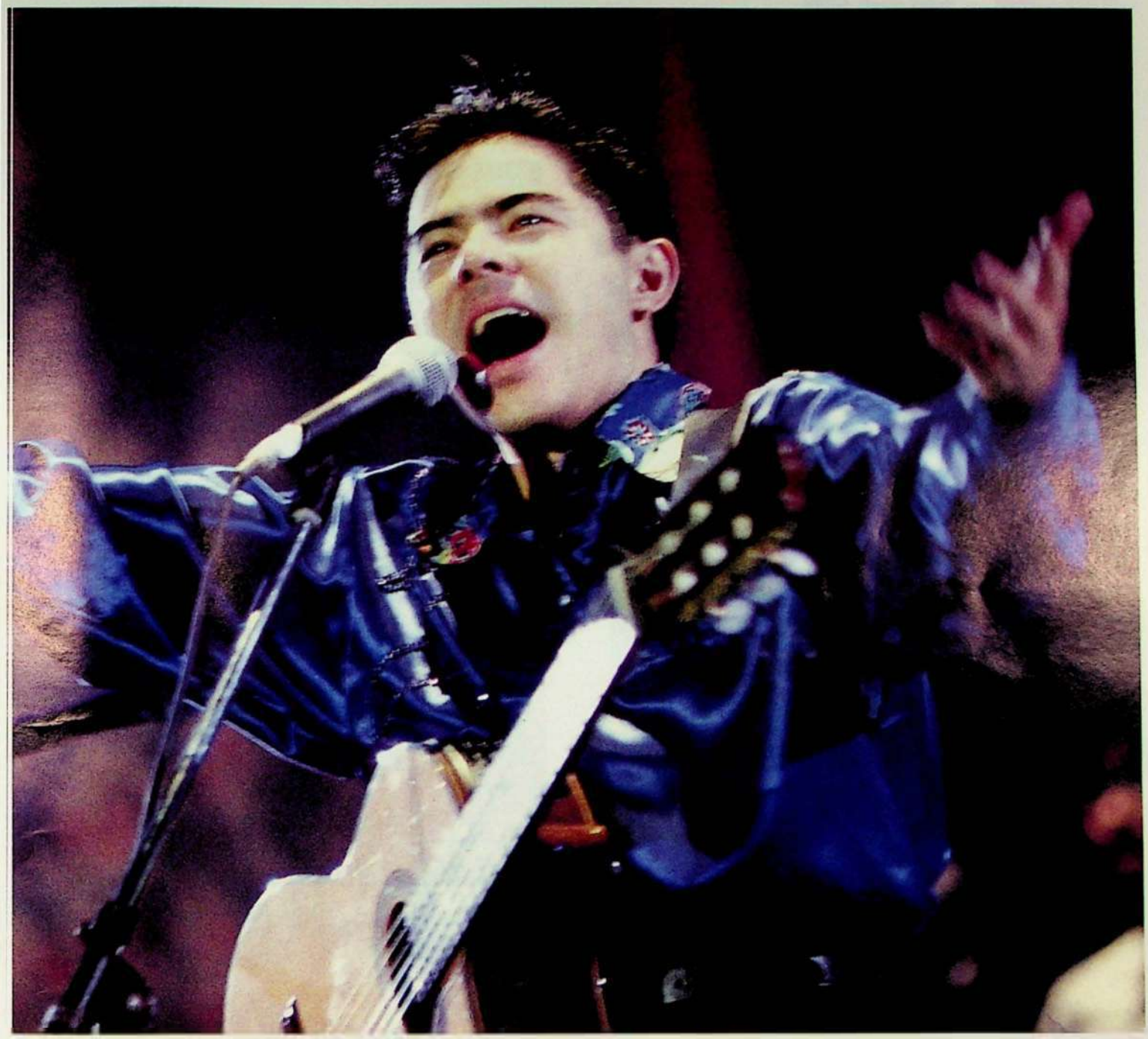
青年よ　三線持ち立ち
弾き鳴らし
世界に向かって　共に
かりゆしぬ　船出さな

哀しく　繰り返してきた　思い出を
気持ち高めて　輝く　未来(あした)へ　変えてゆこう

青年よ　三線持ち立ち
弾き鳴らし
世界に向かって　共に
かりゆしぬ　船出さな

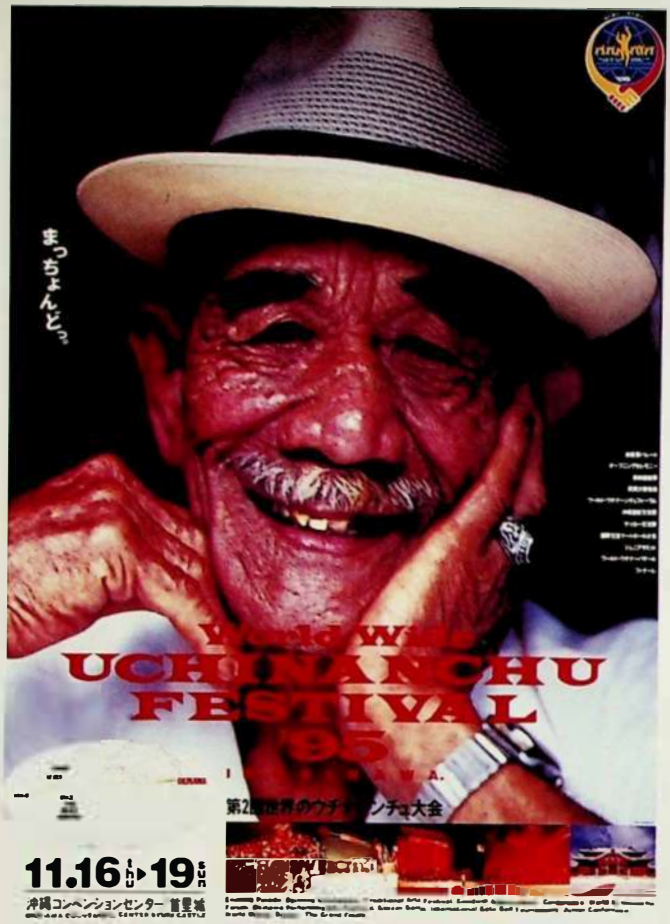
青年よ　三線片手に
弾き鳴らし
平和求めて　共に
この船で　旅立とう

青年よ　三線持ち立ち
弾き鳴らし
世界に向かって　共に
かりゆしぬ　船出さな



資料編

公式ポスター



B全サイズ

B全サイズ

イベント別リーフレット

言語別リーフレット

大会総合パンフレット

B2サイズ

大会バナー

大会旗

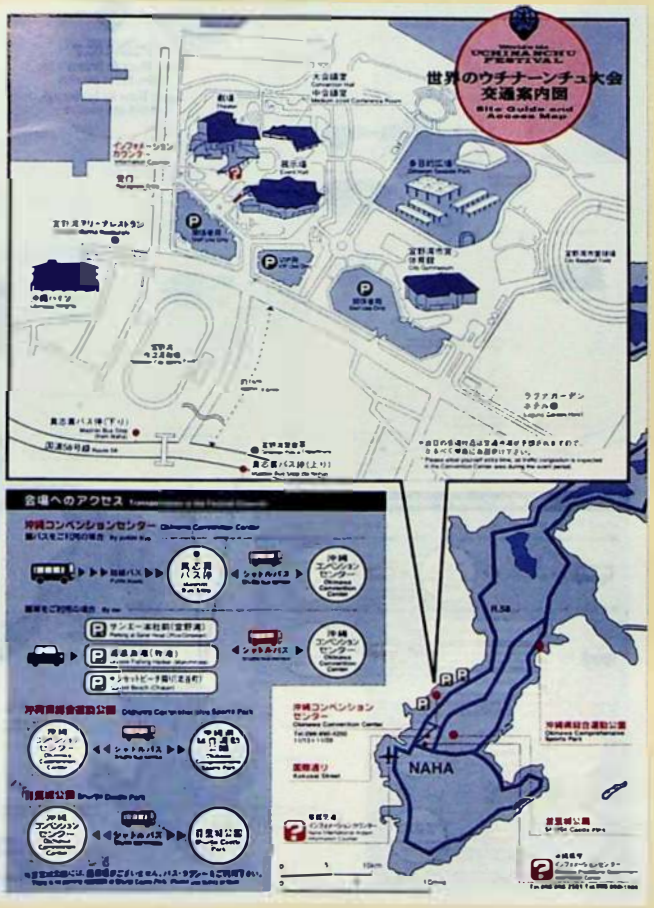
世界のウチナーンチュ大会ニュース

広報資料

大会用チラシ

ワールドウチナーバザールちらし

交通案内図

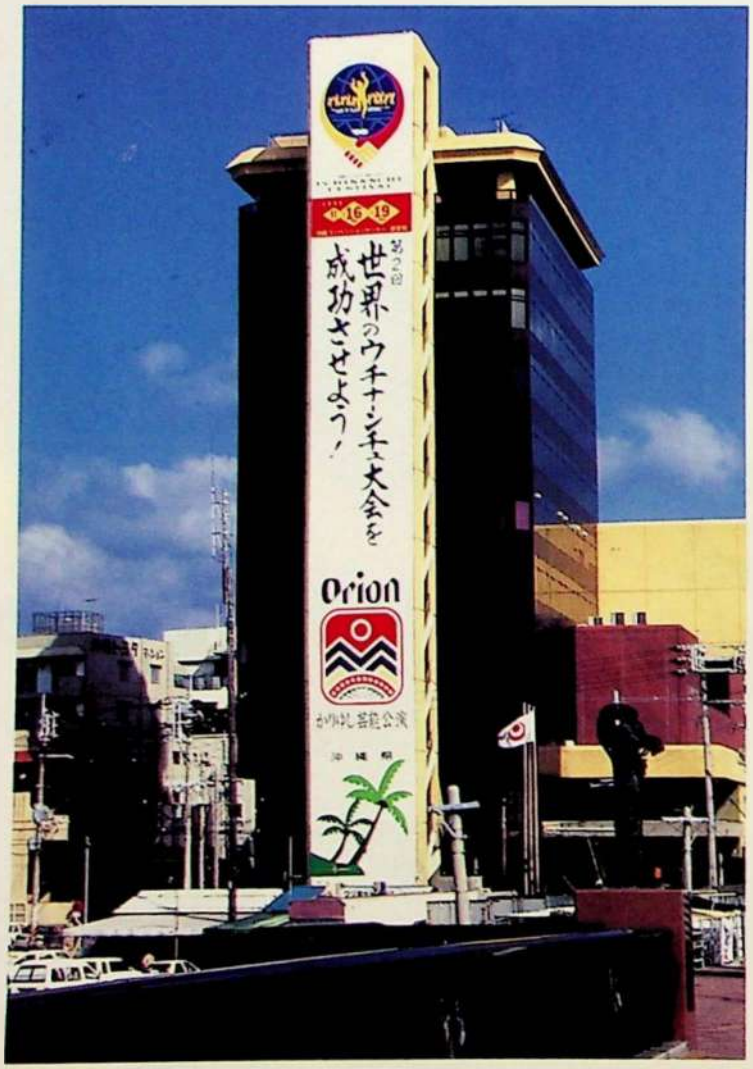


ワールドウチナーバザール出店募集要項

前夜祭パレードちらし

街頭告知

空港前案内看板



懸垂幕（東町会館）

懸垂幕（山形屋）

各種大会記念品

大会実行本部役員ユニフォーム

リボン

【赤リボン(大)】VIP・ワールドウチナーンチュフォーラム基調講演者
【赤リボン(中)】VIP
【赤リボン】民間大使・民間大使会議参加者・
ワールドウチナーンチュフォーラムパネリスト・
海外功労者・県内一般招待者（実行委員会など）
【白リボン(大)】県三役
【白リボン(中)】県幹部
【ピンクリボン】海外一般招待者
【ブルーリボン】県内一般招待者（上記以外）・県外一般招待者
【黄色リボン】海外一般参加者・国内在住外国人
【緑リボン】ジュニアサミット参加者

一般職員ユニフォーム

大会実行委員会事務局職員(白)　大会スタッフ(オレンジ・黒)　ジュニアサミット参加者(ピンク)　通訳ボランティア(黄)

海外参加者用ワッペン

国内参加者用ワッペン

参加カード

受付カード

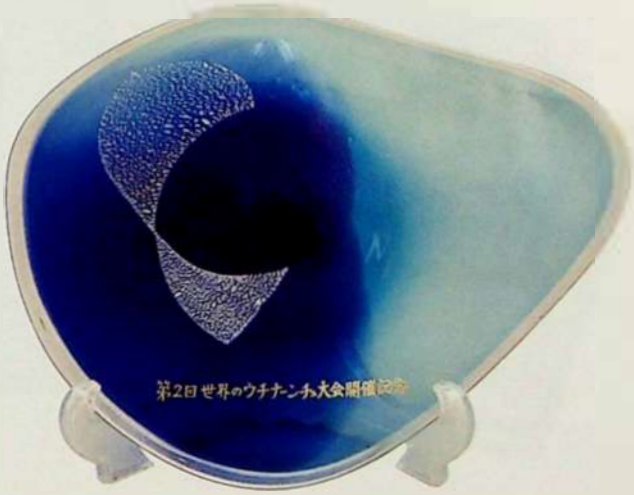
バス無料乗車証

各種チケット類

歓迎レセプション招待者記念品「沖縄ー戦後50年の歩み」

県人会への感謝状

オープニングセレモニー参加者記念品



県人会への記念ガラス

ジュニアサミット参加記念

袋類

シンボルマーク・ロゴ清刷り

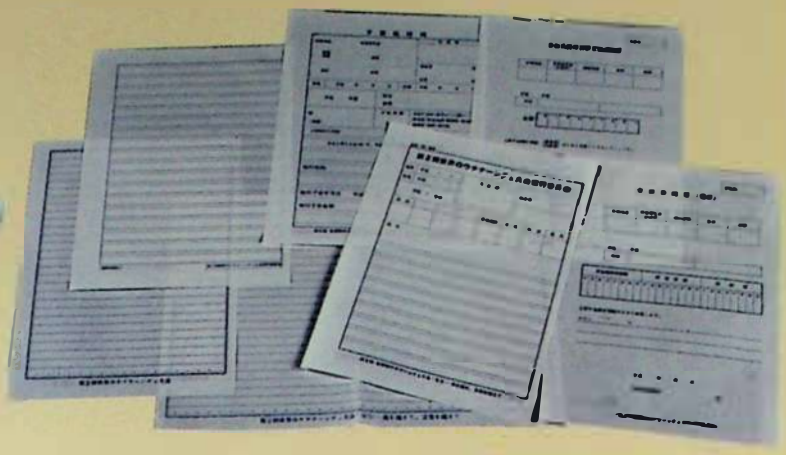
大会テーマソングテープ

報告書

記録ビデオ

写真集

各種封筒



各種帳票類

風船(100日前キャンペーンとフイナーレ演出で使用)

記念ボトル類

I 大会概要

Ⅰ 大会企画概要

1．大会開催の基本的な考え方

世界各地に在住するウチナーンチュ、県人会、留学生等、ウチナーンチュ民間大使、本県と縁のある者（外国人含）等、本県との関係者を全世界的なネットワークで結び、そのネットワークシステムの活用を通して技術、情報、経済、芸能、文化、教育等各分野において、人的、物的交流を促進し、本県と移住先国あるいは諸外国との交流をより一層強力かつ効率的に進展させ、双方の社会・経済の発展や活性化に資すると共に、我が国の「南における国際交流拠点の形成」を目指す。

県は、世界各地で活躍するウチナーンチュを支援し、移住先国との交流事業を推進するため、平成２年に沖縄県の祖国復帰20周年記念事業の一環として、「世界のウチナーンチュ大会」を開催したが、第２回世界のウチナーンチュ大会は、世界に活躍する県系人に加えて、新たに本県に縁のある外国人をも結び付ける一大交流事業である。ウチナーンチュ大会は、あらゆる分野における「沖縄」を国際的視点から内外にアピールするものであり、その結果、本県と国内はもとより諸外国との間に各種交流がより一層進展するとともに、それを通じて文化やスポーツの向上、教育・学術、産業・経済の発展等ひいては本県の地域発展につながるものである。又、1995年は終戦50周年の歴史的節目の年であり、国際交流と平和の意義を考えるにあたって時宜を得たものとなる。

■ 概　要

1）タイトル：第２回世界のウチナーンチュ大会
　　－ The 2nd Worldwide UCHINANCHU FESTIVAL －

2）会　　期：1995年11月16日（木）～19日（日）※前夜祭15日（水）

3）会　　場：① 沖縄コンベンションセンター及びその周辺施設
　　② 首里城公園
　　③ 国際通り
　　④ 沖縄県総合運動公園

4）主　　催：沖縄県、（財）沖縄県国際交流財団、（財）沖縄コンベンションセンター、
　　（財）沖縄ビジターズビューロー

5）主　　管：第２回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

6）イベント企画制作：琉球新報社

7）後　　援：沖縄開発庁、外務省、自治省、国際協力事業団、国際交流基金、関係国大使館、沖縄郵政管理事務所、沖縄県教育委員会、沖縄県体育協会、（財）海洋博覧会記念公園管理財団、琉球新報社、沖縄タイムス社、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ、ラジオ沖縄、FM沖縄

8）協　　賛：各市町村、各企業及び団体

9）参 加 者：海外から3,000人

2．目的と意義

本県は、我が国有数の移民県である。戦前・戦後を通じて多くの県民が海外へ雄飛し、現在では海外に在住する県系人は北米・南米をはじめ、東南アジア、ヨーロッパ、アフリカ等、世界の国々に約30万人と言われている。

1世から4世までを含めたこれら多くの県系人は、その移住先国にしっかりと定着し、政治、経済、文化、学術等の各方面で活躍、その国の開発、発展に寄与すると共に、本県と在住国との交流の架け橋として大きな役割を果たしている。

この世界のウチナーンチュのネットワークを我が県の貴重な人的財産として再確認し、沖縄県が国際交流に果たす多大な役割をアピールする事業として、1990年（平成2年）8月に「世界のウチナーンチュ大会」が開催された。沖縄県の祖国復帰20周年の記念事業として行われたこのイベントは、世界各国のウチナーンチュやその関係者等、全世界的なネットワークの人的な核として「世界のウチナーンチュ民間大使制度」を発足させ、その活動を通じて、より強力な国際交流事業として、具体的な展開をスタートさせ、今日に至っている。

また、第3次沖縄振興開発計画において、本県の国際交流の基本方向及び推進方針として「南における国際交流拠点の形成」を図ると位置づけており、国際交流の架け橋としての本県の役割は一層重要になっている。

第2回世界のウチナーンチュ大会は、第1回大会の成果を踏まえてウチナーンチュ及び沖縄と関わりのある人々を中心とした国際交流ネットワークをさらに拡大、充実、発展させ、産業、経済、文化、学術等あらゆる分野での交流事業を展開し、本県の地域活性化を図ると共に相手国の発展にも大きく寄与することを目的として掲げるものである。第2回世界のウチナーンチュ大会は、世界で活躍する県系人に加え、本県に縁のある外国人も一堂に会する一大交流事業である。

国際交流を重要な施策とする沖縄県が、地方レベルから国際交流事業を展開、アピールする意義は、我が国にとっても大きいものである。また、本大会の開催は国際観光・国際コンベンション事業として、観光立県を掲げる本県の経済振興にも大きく寄与するものである。

第2回世界のウチナーンチュ大会の行われる1995年（平成7年）は、太平洋戦争・沖縄戦終結50周年の節目に当たる。国際交流が平和を前提とし、平和を創出する要件であることを考えた時、県民一人ひとりが、今後21世紀に向けて本県の国際交流・協力事業を協力かつ発展的に推進していくことは、沖縄はもちろん日本および世界各国にとっても重要な意義を有するものである。

II 総括関係

II　総括関係

1．大会開催までの歩み

1994年
(平成６年)

7・12	「第２回世界のウチナーンチュ大会開催の基本方針」作成
8・ 4	「同基本方針」庁議決定
8・ 4	第２回世界のウチナーンチュ大会、太平洋戦争・沖縄戦終結50周年事業として決定。
10・26	第２回世界のウチナーンチュ大会実行委員会が発足（第１回実行委員会）
11・ 1	同事務局を設置（県庁内）
12・	企画書の作成、大会シンボルマーク、ロゴマーク、キャッチフレーズの作成

1995年
(平成７年)

1・	「世界のウチナーンチュ大会ニュース」第１号発行。世界170地区へ7000部配布。
1・28	ウチナーンチュ大会の打ち合わせでペルーのビクトル・アリトミ駐日大使が来県
1・31	ポスター（２種類)、リーフレットできる。
2・3 ～18	中南米キャラバン（４人）派遣
3・11 ～26	北米キャラバン（4人）派遣
3・28	市町村説明会（本島、周辺離島44市町村）県庁4階講堂
3・28	市町村説明会（宮古６市町村）宮古支庁会議室
3・29	市町村説明会（八重山３市町）八重山支庁会議室
4・	「世界のウチナーンチュ大会ニュース」第２号発行
4・28	第２回実行委員会開催
4・28	「大会を成功させる夕べ」琉球新報ホール。県、国際交流財団、琉球新報社などの関係者約80人が参加、来県中のペルーのアブサロン・バスケス農業大臣、アリトミ大使もゲスト参加。
5・ 2	テーマソングにディアマンテスの「片手に三線を」が決まり発表。
8・ 8	「大会まであと100日」街頭キャンペーン、パレットくもじ前。
8・15	「世界のウチナーンチュ大会ニュース」第３号発行。
10・17	第３回実行委員会開催
10・17	「世界のウチナーンチュ大会を成功させる夕べ」(大会まで１か月)
10・20	「世界のウチナーンチュ大会ニュース」第４号発行
11・ 1	世界のウチナーンチュ大会実施本部設置
11・13	大会場（沖縄コンベンションセンター）に実施本部事務局移転
11・13	街頭でのチラシの配布・パレットくもじ前

2．大会実行委員会関係

■1．実行委員会規約

（名　称）
第1条　本会は、「第2回世界のウチナーンチュ大会」実行委員会（以下「本会」という。）と称する。

（目　的）
第2条　本会は、海外に在住し、経済、文化、学術等あらゆる分野で活躍する県系人及び本県に関係の深い者を国際的ネットワークで結び、強化するため、平成7年に「第2回世界のウチナーンチュ大会」を開催し、もって本県との交流をより一層有機的かつ効率的に進展させ、双方の社会・経済の発展や活性化に資するとともに、我が国の「南における国際交流拠点の形成」を目指す。

（事　業）
第3条　本会は、前条の目的を達成するため次のような事業を行う。
（1）　ウチナーンチュ民間大使会議
（2）　ワールド・ウチナーンチュ・フォーラム
（3）　沖縄芸能交流祭
（4）　スポーツ交流祭
（5）　ワールド・ウチナーンチュ・ジュニアサミット
（6）　ワールド・ウチナーバザール
（7）　その他「第2回世界のウチナーンチュ大会」開催に必要な事業

（組　織）
第4条　本会は会長、副会長、委員及び監事をもって組織する。
2　会長は、沖縄県知事の職にある者をもって充てる。
3　副会長、委員及び監事は、別表1に掲げる職にある者とし、会長が委嘱する。

（役員の職務）
第5条　会長は、本会を代表し、会務を総理する。
2　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
3　その職務を代理する者は、あらかじめ会長が指定した者とする。
4　監事は、会長から審査に付された決算書を監査する。

（任　期）
第6条　役員、委員及び監事の任期は、本会が解散されるまでとする。

（会　議）
第7条　会議は、会長が招集し、その議長となる。
2　第3条に掲げる事業を推進するため、本会は、次の各号に掲げる事項を審議し、決定する。
（1）　大会運営に係る基本方針に関すること。
（2）　事業計画に関すること。
（3）　予算及び決算に関すること。
（4）　規約の制定、及び改廃に関すること。
（5）　その他、重要な事項に関すること。

（議　事）
第8条　本会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（会長の専決処分）
第9条　会長は、会議を招集するいとまのない場合における緊急な事項については、これを専決処分することができる。
2　会長は前項の規定により専決処分したときは、これを次の会議に報告しその承認を得なければならない。

（幹事会）
第10条 本会に幹事会をおく。
2　幹事会は委員会に付議すべき事案をあらかじめ調査検討し、委員会の円滑な運営を図る。

3　幹事会は幹事長、副幹事長及び幹事をもって組織する。
4　幹事長は沖縄県総務部知事公室次長をもって充てる。
5　副幹事長及び幹事は別表２に掲げる職にある者とし、会長が委嘱する。
6　幹事長は、会務を総括する。
7　幹事長に事故があるとき、又は欠けたときには、副幹事長がその職務を代理する。
8　幹事長は、必要があるときは専門家又は関係者を参考人として幹事会に出席を求めることができる。

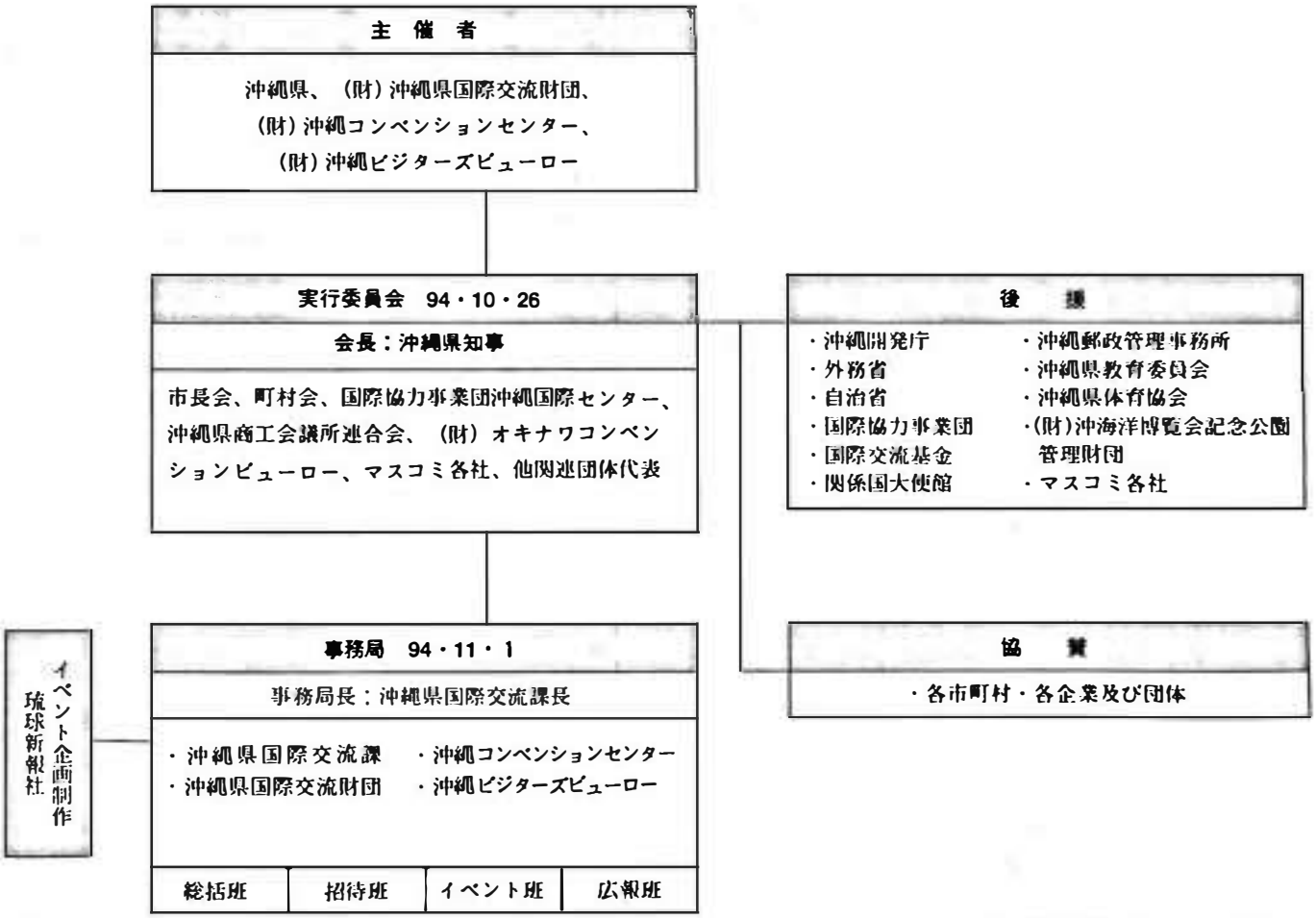
（事務局）
第11条　本会の事務を処理するため、沖縄県総務部知事公室国際交流課に事務局を置く。
2　事務局職員は、県関係部局、関係機関等の職員を兼務させるものとする。
3　事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

（会　計）
第12条　本会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。
第13条　本会の会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。
2　本会の会計に関し必要な事項は、会長が定めるもののほか、沖縄県の財務に関する諸規定の例による。

（委　任）
第14条　この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附　則
この規約は、平成６年10月26日から施行する。

■２．第２回世界のウチナーンチュ大会組織概要



■3．実行委員会名簿

別表1

役員／委員	所属	役職
会長	沖縄県	知事
副会長	沖縄県	副知事
副会長	沖縄県	副知事
副会長	沖縄県	出納長
副会長	沖縄県	政策調整監
副会長	沖縄県	技監
副会長	沖縄県市長会	会長
副会長	沖縄県町村会	会長
副会長	沖縄コンベンションセンター	副理事長
副会長	沖縄ビジターズビューロー	理事長
副会長	沖縄県国際交流財団	副理事長
委員	沖縄県	総務部長
委員	沖縄県	知事公室長
委員	沖縄県	企画開発部長
委員	沖縄県	振興開発室長
委員	沖縄県	生活福祉部長
委員	沖縄県	環境保健部長
委員	沖縄県	病院管理局長
委員	沖縄県	農林水産部長
委員	沖縄県	商工労働部長
委員	沖縄県	観光文化局長
委員	沖縄県	土木建築部長
委員	沖縄県	教育長
委員	沖縄県	企業局長
委員	沖縄県	警察本部長
委員	沖縄県銀行協会	会長
委員	沖縄県人材育成財団	理事長
委員	海洋博覧会記念公園管理財団	常務理事
委員	オキナワコンベンションビューロー	副会長
委員	沖縄国際センター	所長
委員	沖縄県体育協会	会長
委員	沖縄県工業連合会	会長
委員	沖縄県商工会議所連合会	会長
委員	沖縄県経営者協会	会長
委員	沖縄県中小企業団体中央会	会長
委員	協同組合沖縄フリートレードゾーン	理事長
委員	沖縄県農業協同組合中央会	会長
委員	沖縄県水産業中央会	会長
委員	日本青年会議所沖縄地区協議会	会長
委員	沖縄県青年団協議会	会長
委員	沖縄県婦人連合会	会長
委員	沖縄県ホテル旅館環境衛生同業者組合	副理事長
委員	沖縄県善意通訳友の会	会長
委員	NTT沖縄支店	支店長
委員	日本テレコム沖縄支店	支店長
委員	KDD沖縄支社	支店長
委員	国際デジタル通信株式会社沖縄営業所	所長
委員	NHK沖縄放送局	局長
委員	琉球放送（株）	社長
委員	沖縄テレビ放送	社長
委員	沖縄タイムス社	社長
委員	琉球新報社	社長
委員	（株）ラジオ沖縄	社長
委員	FM沖縄	社長
委員	（社）沖縄県バス協会	会長
委員	（社）沖縄県タクシー協会	会長
委員	沖縄電力株式会社	社長
委員	りゅうぎん国際化振興財団	会長
委員	第二電電（株）沖縄営業所	所長
委員	沖縄県社会福祉協議会	会長
委員	沖縄県身体障害者福祉協会	会長
委員	ひめゆり同窓会	会長
委員	沖縄県遺族連合会	会長
委員	国際ソロプチミスト沖縄	会長
委員	財団法人おきなわ女性財団	理事
委員	在沖米国商工会議所	会頭
委員	中琉文化経済協会	代表
委員	在那覇フィリピン名誉領事館	名誉領事
委員	在那覇ブラジル名誉領事館	名誉領事
委員	在沖添パラグアイ名誉領事館	名誉領事
委員	在那覇ペルー共和国名誉領事館	名誉領事
委員	在那覇ペルー共和国名誉領事館	名誉領事
委員	沖縄県青年海外協力協会	会長
監事	沖縄県	総務部次長
監事	沖縄県	出納事務局長

幹事会名簿

別表2

役員／委員	所属	役職
幹事長	沖縄県	知事公室次長
副幹事長	沖縄県	総務部次長
幹事	沖縄県	企画開発部次長
幹事	沖縄県	振興開発室次長
幹事	沖縄県	生活福祉部次長
幹事	沖縄県	環境保健部次長
幹事	沖縄県	病院管理局次長
幹事	沖縄県	農林水産部次長
幹事	沖縄県	商工労働部次長
幹事	沖縄県	観光文化局次長
幹事	沖縄県	土木建築部次長
幹事	沖縄県	教育次長
幹事	沖縄県	警察本部参事官兼警務課長
幹事	沖縄県	企業局次長
幹事	沖縄ビジターズビューロー	事務局長
幹事	沖縄コンベンションセンター	事務局長
幹事	沖縄県国際交流財団	事務局長

■4．実行委員会事務局の組織及び運営に関する規程

第1章　総　則

（趣　旨）
第1条　この規程は、「第2回世界のウチナーンチュ大会」実行委員会規約第11条3項の規定に基づき、「第2回世界のウチナーンチュ大会」実行委員会事務局（以下「事務局」と言う。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

第2章　事 務 局

（事務局）
第2条　事務局は、沖縄県総務部知事公室国際交流課内におく。

（業　務）
第3条　事務局は、「第2回世界のウチナーンチュ大会」実行委員会に関する一切の事務を処理する。

（組織及び所掌事務）
第4条　事務局に別表第1に掲げる班を置き、それぞれ同表に掲げる事務を分掌する。

（職　員）
第5条　事務局に次の職員を置く。
（1）　事務局長
（2）　事務局副参事兼次長
（3）　事務局次長
（4）　班長
（5）　班員
2　事務局長は、沖縄県総務部知事公室国際交流課長をもって充てる。
3　会長は前項に定めるもののほか、特に必要があると認めるときは、職員を任命又は委嘱することができる。

（職　務）
第6条　事務局長は、会長の命を受け事務を総括し、職員を指揮監督する。
2　事務局副参事兼次長は、イベントの企画・実施に係る事項を処理する。
3　事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故あるときは、事務局次長がその職務を代理する。
4　班長は、上司の命を受け班の事務を総括する。
5　班長は、上司の命を受け事務に従事する。

第3章　事務の決裁

（専　決）
第7条　事務局長及び班長は、別表第2に掲げる事項を専決することができる。

（代理決裁）
第8条　会長が不在のときは、あらかじめ、会長が指定した副会長が、会長及び副会長がともに不在のときは、事務局長がその事務を代理決裁する。
2　事務局長が不在のときは、事務局次長がその職務を代理決裁する。
3　代理決裁した事項については、専決すべき者に速やかに後閲を受け、又は報告しなければならない。

（重要事項の専決保留）
第9条　専決者は、この規程の定めるところにより、専決できる事項であっても、事案の内容が特に重要であるもの、異例のもの、疑義のあるもの、重大な紛争を生ずるおそれのあるもの等は、上司の決裁を受けなければならない。

第4章　文　章

（収受及び発送）
第10条　事務局に到着した文書及び物品は、総括班で収受し、配布するものとする。
（記号及び番号）

第11条　文書には、「世ウ委」の記号を付し、総括班備え付けの文書処理簿による一連番号をつけなければならない。ただし、簡易な文書については、これを省略することができる。

（発信者名）

第12条　文書の発信者は、会長名を用いるものとする。ただし、事案の軽易な文書にあっては事務局長名を用いることができる。

（合　議）

第13条　他の班に関係があると認められる起案文書については、当該班に合議しなければならない。

第5章　公　印

（公　印）

第15条　公印の種類は、別表第3のとおりとする。

2　前項に定める公印の管理者は、総括班長とする。

第6章　服　務

（服　務）

第16条　職員の服務については、沖縄県職員の例による。

第7章　財　務

（予算案の作成）

第17条 事務局長は、予算案を作成し、会長の決裁を受けなければならない。予算の補正についても同様とする。

（出納員の設置）

第18条　事務局に出納員を置く。

2　出納員は、事務局次長をもって充てる。

3　出納員の職務は、次の各号のとおりとする。

（1）現金（証券を含む）の出納及び保管に関すること。

（2）物品の出納及び管理に関すること。

（3）前各号に付随する会計事務に関すること。

4　事務局次長が不在の場合、総括班長が出納員の職務を代理する。

（出納閉鎖）

第19条　出納は、翌年度の5月31日に閉鎖する。

2　前項の出納閉鎖期日は、会長がやむを得ないと認めるときは、その期日を変更することができる。

（金融機関の指定）

第20条　現金の出納は、事務局長が指定する金融機関を通して取り扱うものとする。

（決　算）

第21条　出納員は、出納閉鎖後60日以内に収入支出決算書を、会長に提出しなければならない。

第8章　補　足

第22条 この規程に定めるもののほか、事務局の運営に関しては、沖縄県の諸規則等の例による。

付　則

この規程は、平成6年11月1日から施行する。

〈別表第１〉第４条関係

班　　名	所　　掌　　事　　務
総　括　班	1　予算（負担金）に関すること。 2　人事に関すること。 3　規約・規程の作成に関すること。 4　大会の指針となる基本方針の策定に関すること。 5　事務局の予算に関すること。 6　諸規定の改廃に関すること。 7　出納事務に関すること。 8　外国との一般連絡・調整に関すること。 9　委員会、幹事会に関すること。 10 寄付金に関すること。 11 大会の収支に関すること。 12 委託業務の総合管理・調整に関すること。
広　報　班	1　事前PRに関すること。 2　開・閉会の記者会見に関すること。 3　大会シンボルマークの取り扱いに係る規程の制定に関すること。 4　キャラバンの計画、人選、派遣に関すること。 5　委託業務の管理・調整に関すること。
招　待　班	1　VIPの人選に関すること。 2　民間大使・特別招待者の選定に関すること。 3　海外県人会との連絡・調整に関すること。 4　キャリアエージェント等への協力依頼に関すること。 5　各国首脳からのメッセージに関すること。 6　招待客及び一般参加者の宿泊・輸送に関すること。 7　委託業務の管理・調整に関すること。
イベント班	1　各市町村への関連イベントに関する連絡・調整に関すること。 2　実施イベントの進行・管理に関すること。 3　50周年関連イベントに係る他部局との調整に関すること。 4　各イベントへの外国からの参加に関すること。 5　委託業務の管理・調整に関すること。 6　イベントに係る企画・実施の委託業務に関すること。

〈別表第２〉第７条関係

１事務局長専決事項

（１）班長及び班員の任命
（２）事務局長、事務局副参事兼次長、事務局長、班長、班員の旅行命令及び復命の受理
（３）職員以外の者の旅行依頼及び報告の受理
（４）国、市町村、関係機関との協議
（５）重要な通達、進達、副申、通知、照会、回答または報告
（６）シンボルマークの使用許可及び協賛の付与
（７）予算の配当、流用及び収入金の調定並びに徴収
（８）支出負担行為の決定及び支出命令

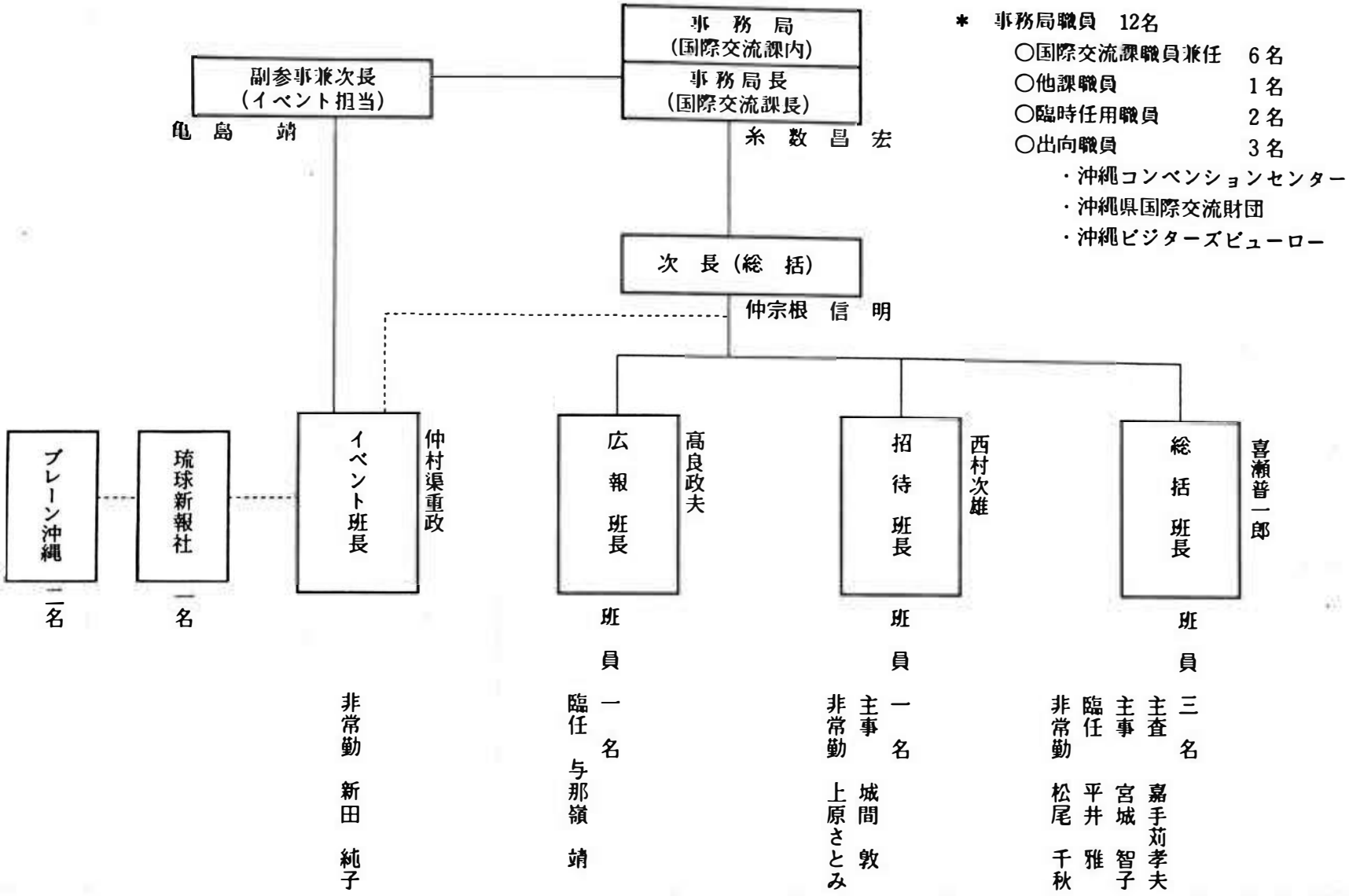
２班長専決事項

（１）班員の事務分担
（２）軽易な通達、進達、副申、通知、照会、回答または報告

〈別表第３〉第15条関係

公印の種類	ひ　な　型	寸　　法
会　長　印	第２回世界のウチナーンチュ 大会実行委員会会長之印	70ミリメートル平方 れい書
事務局長印	第２回世界のウチナーンチュ 大会実行委員会事務局長之印	70ミリメートル平方 れい書

■5. 第２回世界のウチナーンチュ大会実行委員会事務局組織図



＊ 事務局職員 12名

- ○国際交流課職員兼任 6名
- ○他課職員 1名
- ○臨時任用職員 2名
- ○出向職員 3名
  - ・沖縄コンベンションセンター
  - ・沖縄県国際交流財団
  - ・沖縄ビジターズビューロー

3．大会実施本部組織体制関係

■1．実施本部設置要綱

（目　的）

第１条　この要綱は、第２回世界のウチナーンチュ大会（以下「大会」という。）の開催趣旨に沿って、各種イベントを円滑・安全に実施し、大会の成功を期するため、「第２回世界のウチナーンチュ大会実施本部」（以下「実施本部」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めるものである。

（組　織）

第２条　実施本部は、第２回世界のウチナーンチュ大会実行委員会及び事務局のスタッフを中心に、関係団体等からの協力支援を得て組織する。

２　実施本部の組織体制は、本部長（実行委員会会長　沖縄県知事　大田昌秀）以下、別添「実施本部組織体制図」のとおりとする。

（役員の職務）

第３条　本部長は、実施本部の会務を総理する。

２　副本部長は、本部長を補佐し、本部長不在のとき、または事故あるときは、その職務を代理する。但し、その職務を代理する者は、予め本部長が指定した者とする。

３　統括部長は、必要に応じて統括幹事と協議して、実施本部事務局の大会運営に係る重要事項を総括する。

４　統括次長は、統括部長を補佐し、統括部長不在のとき、または事故あるときは、その職務を代理する。但し、その職務を代理する者は、予め統括部長が指定する。

（実施本部事務局）

第４条　実施本部事務局は、別表の「各部、各班の業務内容」に示す実施本部の事務を処理する。

２　事務局長は、実施本部事務局の事務を総括し、職員を指揮監督する。

３　副参事兼次長は、イベントの実施・監督に係る事務を処理する。

４　事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故あるときは、事務局長を代理する。

（応援体制）

第５条　本部長は、大会開催中、共催３団体から、施設提供、便宜供与、職員の派遣等を求めるとともに、必要に応じて通訳等一般からのボランティアを募る。

（非常時の管理体制）

第６条　本部長は、台風等の荒天又は突発の事故等により予定どおりの大会業務運営が不可能と判断される場合は、統括部長及び実施本部事務局の報告に基づき、実施計画内容の変更又は中止を決定する。

（実施本部設置の時期）

第７条　実施本部の設置については1995年11月１日とし、11月13日から19日までの間は、沖縄コンベンションセンター内に実施本部事務局を置く。

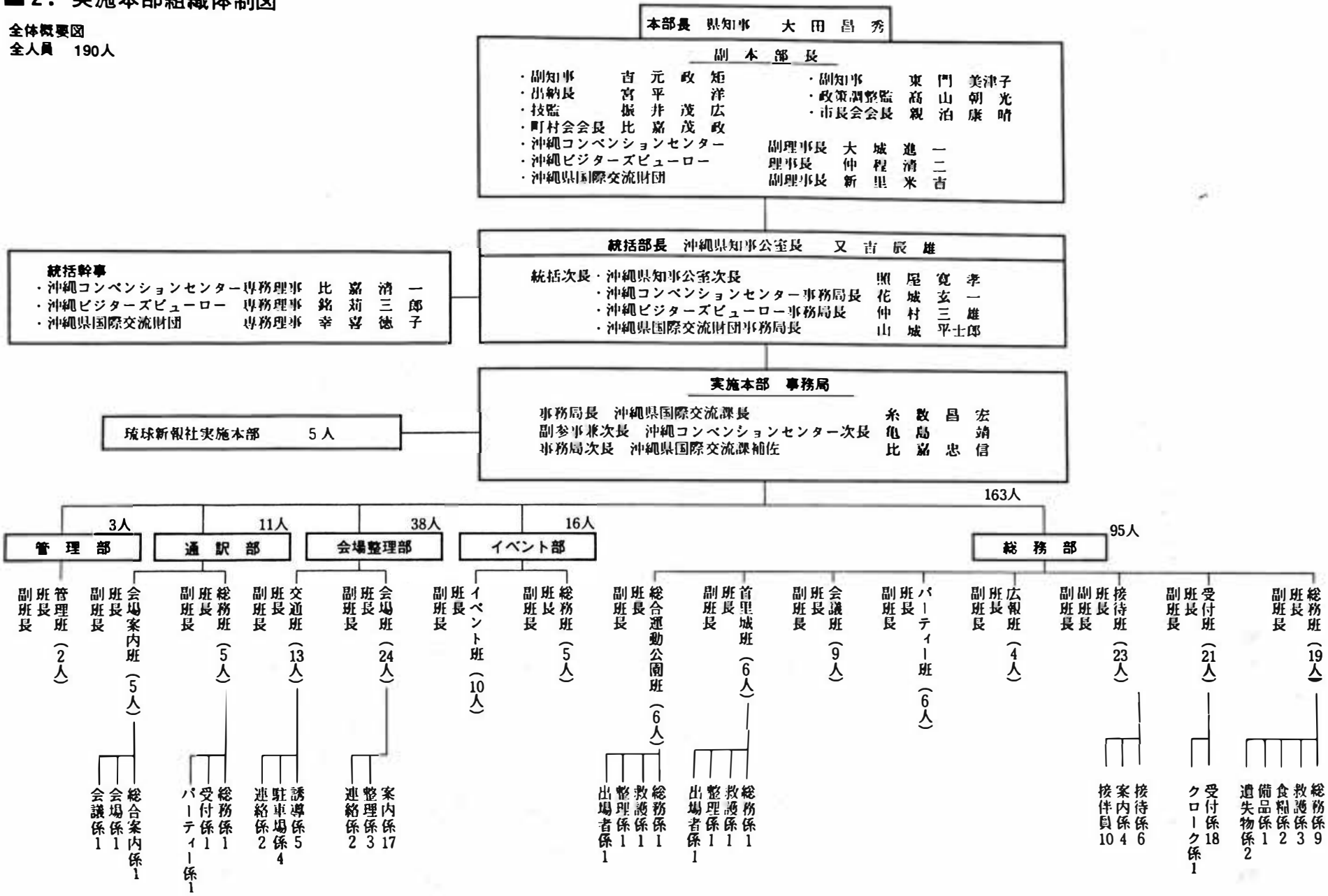
２　実施本部は、大会の終了に伴い、解散する。

（雑　則）

第８条　この要綱に定めるもののほか、実施本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

■2．実施本部組織体制図

全体概要図
全人員　190人



［別　表］

■3．各部、各班の業務内容

総務部：大会全般の運営に係る総合調整、総合案内、苦情処理のほか、他の部に属しない業務を処理する。

班　　名	係　　名	業　務　概　要	摘　　要
1．総務班 (19人) 班　長1 副班長1	①総務係（9人）	大会全般に係る諸業務、総合調整、総合案内、苦情処理、各部各班との連絡調整に関すること。	総合案内所、会場内外のアナウンス、「苦情台帳」作成 招待者旅費支払
	②救護係（3人）	医療救護の業務に関すること。	看護婦1名(海邦病院と連絡) 「救護台帳」の整備
	③食糧係（2人）	大会本部の弁当、飲み物等の管理配布に関すること。 その他食糧の管理に関すること。	各部、各班員への配布
	④備品係（1人）	大会に必要な資料等の管理、配布に関すること。 必要な機材等の管理に関すること。	パンフレット、チラシ、プログラム等大会資料の管理。機材の管理
	⑤遺失物係（2人）	会場内における遺失物・拾得物の収集管理、迷子の保護に関すること。 各部、各班からの情報収集、事務引き継ぎに関すること。	「遺失物台帳」の作成 「拾得物台帳」の作成 「迷子台帳」の作成
2．受付班 (21人) 班　長1 副班長1	①受付係（18人）	オープニングセレモニー及びフィナーレ・レセプションの受付けに関すること。受付カードの受取り、プログラム等、記念品の配布に関すること。	通訳ボランティア、一般ボランティア動員、ＶＩＰ、海外、国内別の受付、受付後記念品の準備
	②クローク係（1人）	招待者の貴重品以外の手荷物等の一時預かりに関すること。	貴重品は除く。招待者を原則とする。 常時は設置しない。

総務部

班　　名	係　　名	業　務　概　要	摘　　要
3．接待班 (23人) 班　長1 副班長2	①接待係（6人）	来賓の出席確認、移動計画、連絡調整、湯茶接待等並びに一般参加者のための湯茶接待に関すること。	通訳対応、ＶＩＰルームの準備・管理、湯茶準備、湯茶接待ボランティア
	②案内係（4人）	来賓等の誘導、会場案内に関すること。	入口からの誘導、通訳対応
	接伴員（10人）	ＶＩＰの県内滞在中における視察、訪問等の接伴に関すること。	部・課長クラス等で対応（通訳を要する）
4．広報班 （4人） 班　長1 副班長1	係（2人）	報道機関との連絡調整及びプレスセンターの管理に関すること。その他大会広報一般業務に関すること。	各部、各班からの情報集約、日程の変更、イベント結果の報道
5．パーティー班 （6人） 班　長1 副班長1	係（4人）	歓迎レセプション、海外県人会会長会議懇親会の運営管理に関すること。（国内県人会会長懇親会）	通訳対応、
6．会議班 （9人） 班　長1 副班長1	係（7人）	民間大使会議、ワールド・ウチナーンチュフォーラムの進行、連絡、コミュニケ等会議結果の総括に関すること。	部会結果のとりまとめ。全体コミュニケの作成。通訳対応。プレス対応。旅費支給対応。
7.首里城班 （6人） 班　長　1 副班長　1	①総務係（1人）	イベント総合調整、問い合わせ、苦情処理等に関すること。各部、各班との連絡調整に関すること。 報道機関への対応及び連絡調整に関すること。 遺失物・迷子の保護管理に関すること。	受け付け、総合案内、場内アナウンス、バス輸送のチェック、弁当配布、「苦情台帳」作成、「遺失物台帳」作成、「迷子台帳」作成

総務部

班　　名	係　　名	業　務　概　要	摘　　要
	②救護係（1人）	医療救護の業務に関すること。	「救護台帳」の整備
	③整理係（1人）	会場内外の案内、交通対策、駐車場の管理に関すること。	バス発着の対応。
	④出場者係 （1人）	通訳業務に関すること。 出場者との調整、通訳に関すること。	事前打ち合わせ、 受付通訳、会場通訳、
8.総合運動公園班 （6人） 班　長　1 副班長　1	①総務係（1人）	イベント総合調整、問い合わせ、苦情処理等に関すること。各部、各班との連絡調整に関すること。 報道機関への対応及び連絡調整に関すること。 遺失物・迷子の保護管理に関すること。	受け付け、総合案内、場内アナウンス、バス輸送のチェック、弁当配布、「苦情台帳」作成、「遺失物台帳」作成、「迷子台帳」作成
	②救護係（1人）	医療救護の業務に関すること。	「救護台帳」の整備
	③整理係（1人）	会場内外の案内、交通対策、駐車場の管理に関すること。	バス発着の対応。
	④出場者係 （1人）	通訳業務に関すること。 出場者との調整、通訳に関すること。	事前打ち合わせ、 受付通訳、会場通訳、

イベント部：イベント部門の管理・監督、総合調整、問い合わせ、苦情処理等に関する業務を処理する。

班　　名	係　　名	業　務　概　要	摘　　要
1.総務班 （5人） 班　長　1 副班長　1	係（3人）	イベント部門に関する総括業務に関すること。 問い合わせ、苦情処理に関すること。 各イベント会場との連絡調整に関すること。	イベント、競技結果の取りまとめ広報対応（広報班） 遺失物、迷子の連絡、弁当の受配通訳連絡、
2.イベント班 (10人) 班　長　1 副班長　1	係（8人）	イベントの実施に関すること。	会場整理（会場班との連絡調整） 競技結果報告、出演者連絡

会場整理部：各イベント等を安全円滑に実施するため、宜野湾市会場内外の整理全般に関する業務を処理する。

班　　名	係　　名	業　務　概　要	摘　　要
1.会場班 (24人) 班　長　1 副班長　1	①案内係（17人）	会場内外の案内、誘導に関すること。	オープニングセレモニー及びフィナーレ、受付班との連携、
	②整理係（3人）	会場内外の整理、保安及び植栽管理に関すること。	式典場内での待機、場外の整理
	③連絡係（2人）	各部、各班との連絡調整に関すること。	
2.交通班 (13人) 班　長　1 副班長　1	①誘導係（5人）	会場内外の交通整理に関すること。	駐車証、各専用駐車場、バス待機一般市民への案内
	②駐車場係（4人）	会場内外の駐車場の管理に関すること。	駐車場内の誘導、無許可車両のチェック、駐車場内での事故予防
	③連絡係（2人）	各駐車場との連絡調整に関すること。場内駐車場、場外一般駐車場（北谷、港川、宜野湾）との連絡調整に関すること。	駐車状況の連絡、警備会社との連絡

通訳部：大会運営に係る通訳、翻訳に関する業務を処理する。

班　　名	係　　名	業　務　概　要	摘　　要
1.総務班 （5人） 班　長　1 副班長　1	①総務係（1人）	通訳、翻訳に係る総合調整、各イベント会場との連絡調整に関すること。	プロ通訳、ボランティア通訳「ボランティア動員台帳」点検
	②受付係（1人）	オープニングセレモニー及びフィナーレの受付時における通訳に関すること	ＶＩＰ対応通訳、
	③パーティー係 （1人）	歓迎レセプション等各種のパーティーにおける通訳に関すること。	プロ通訳、ボランティア通訳
2.会場案内班 （5人） 班　長　1 副班長　1	①総合案内係 （1人）	総合案内所における通訳に関すること。	総務部総務班との連携、場内アナウンス、外国語訳資料
	②会場係（1人）	各イベント会場における通訳に関すること。	各会場受け付け、バザール等各会場の巡回、
	③会議係（1人）	民間大使会議等各種会議における通訳・翻訳に関すること。	プロ通訳、事前準備、事後点検

管理部：コンベンションセンター施設の管理全般に関する業務を処理する。

班　　名	係　　名	業　務　概　要	摘　　要
1.管理班 （2人） 班　長　1 副班長　1		コンベンションセンター施設の管理全般に関すること。 会場の各種機材、備品、電気等の点検、会場の開閉等に関すること。	

4．大　会　予　算

■1．実行委員会94年度収支

平成6年度収入支出決算

収入の部

単位：円

目	当初予算額	増減額	予算現額	収入済額	過不足額	説明
負担金	31,843,000	0	31,843,000	31,843,000	0	県負担金
雑入	0	21,667	21,667	21,667	0	普通預金決算利息
計	31,843,000	21,667	31,864,667	31,864,667	0	

支出の部

目	当初予算額	増減額	予算現額	支出済額	予算残額	説明
共済費	5,000	888	5,888	5,888	0	
賃金	584,000	△ 90,248	493,752	493,752	0	
旅費	9,494,000	△ 1,147,618	8,346,382	8,346,382	0	
（普通旅費）	1,814,000	△ 749,844	1,064,156	1,064,156	0	
（特別旅費）	6,716,000	450,450	7,166,450	7,166,450	0	
（費用弁償）	964,000	△ 848,224	115,776	115,776	0	
需用費	2,970,000	1,640,540	4,610,540	4,610,540	0	
（消耗品費）	450,000	650,070	1,100,070	1,100,070	0	
（食糧費）	1,520,000	288,253	1,808,253	1,808,253	0	
（印刷製本費）	1,000,000	702,217	1,702 217	1,702 217	0	
役務費	1,355,000	△ 592,526	762,474	762,474	0	
（通信運搬費）	1,355,000	△ 613,126	741,874	741,874	0	
（広告料）	0	20,600	20,600	20,600	0	
委託料	16,661,000	△ 911,000	15,750,000	15,750,000	0	
使用料及び賃借料	557,000	△ 184,070	372,930	372,930	0	
備品購入費	217,000	1,305,701	1,522,701	1,522,701	0	
計	31,843,000	21,667	31,864,667	31,864,667	0	

収入総額	31,864,667 円	翌年度へ繰り越すべき財源	0 円
支出総額	31,864,667 円	（繰越明許費繰越額）	
収入支出差引額	0 円	実質収支額	0 円

■2．実行委員会95年度収支

平成7年度収入支出決算

収入の部

単位：千円

目	本年度	前年度	比較	備考
負担金	315,000	31,843	283,157	県負担金受入
協賛金	10,000	0	10,000	市町村協賛金
雑入	1,345	22	1,323	預金利子
計	326,345	31,865	294,480	

支出の部

単位：千円

目	本年度	前年度	比較	財源内容		説明及び積算内訳
				県負担金	その他	
賃金	4,944	494	4,450	4,944	0	事務補助及び大会補助要員
共済費	86	6	80	86	0	賃金雇用に伴う保険料
報償費	(6,439)	0	6,439	6,439	0	大会参加記念品等
(報償金)	60,500	0	(6,439)	(6,439)	0	
旅費	35,754	8,346	27,408	35,754	0	
(普通旅費)	914	1,064	△ 150	1,000	0	関係機関(国)への説明、調整等事務局運営
(特別旅費)	34,008	7,166	26,842	34,008	0	海外招待者旅費一部負担分
(費用弁償)	832	116	716	832	0	関係機関(国)への説明、調整等旅行依頼分
需用費	12,629	4,611	8,018	12,246	383	
(食糧費)	6,298	1,100	5,198	5,915	383	関係者懇談会、大会弁当、委員会開催経費
(消耗品費)	4,895	1,809	3,086	4,895	0	表敬者土産代、事務消耗品等
(印刷製本費)	1,436	1,702	△ 266	1,436	0	大会用印刷物、その他事務用印刷物等
役務費	6,408	762	5,646	5,446	962	
(通信運搬費)	6,049	741	5,308	5,087	962	電話料、文書等発送料」
(筆記含み訳料)	359	0	359	359	0	ポルトガル語翻訳(招待状、礼状)
(広告料)	0	21	△ 21	0	0	
使用料及び賃借料	3,531	373	3,158	3,531	0	タクシー、コピー、FAX、パソコン使用料等
備品購入費	510	1,523	△ 1,013	510	0	記録ビデオの防湿庫
委託料	256,044	15,750	240,294	246,044	10,000	イベント委託 招待業務委託
計	326,345	31,865	293,480	315,000	11,345	

5．寄付協賛関係

第２回世界のウチナーンチュ大会には多くの企業・団体及び個人から寄付金・協賛金・物品給付の形で財政的支援が寄せられた。その内容は以下のとおりである。

■　寄付者一覧

単位：円

所　　属	金　額
株式会社ホテル西武オリオン	1,000,000
株式会社島袋	20,000
沖縄高速印刷株式会社	30,000
瑞穂酒造株式会社	20,000
那覇青果物卸商事業協同組合	100,000
旭建設株式会社	150,000
沖縄道路株式会社	30,000
株式会社南海建設	100,000
沖縄乗用自動車事業協同組合協同無線タクシー	30,000
株式会社ＹＫＫ　ＡＰ沖縄	20,000
株式会社ざまみダンボール	30,000
浦添市管工事事業協同組合	10,000
（社）沖縄県建設業協会	100,000
平安座総合開発株式会社	50,000
株式会社名城	20,000
第一食糧株式会社	50,000
丸尾建設株式会社	50,000
沖水化成株式会社	10,000
財団法人沖縄県学校給食会	50,000
沖縄スバル自動車株式会社	30,000
社団法人沖縄県医師会	100,000
株式会社唐真組	30,000
株式会社ジミー	500,000
沖縄商工会議所	30,000
株式会社高橋土建	30,000
南西電設株式会社	50,000
株式会社沖建住宅	10,000
株式会社ぐしけん	300,000
南都ワールド株式会社	20,000
株式会社大寛組	30,000
株式会社沖電工	30,000
株式会社沖縄県くみあい機械	10,000
社団法人沖縄県歯科医師会	50,000
沖縄プラント工業株式会社	30,000
株式会社仲善	10,000
リューセロ株式会社	50,000
沖縄県生コンクリート協同組合	30,000
社団法人沖縄県薬剤師会	50,000
株式会社オークス	30,000
日本電信電話株式会社沖縄支店	100,000

所　　属	金　額
大永建設株式会社	200,000
沖縄県自動車販売協会	110,000
屋宜原総業有限会社	100,000
沖縄製粉株式会社	20,000
株式会社国建	50,000
睦会	500,000
有限会社福地組	50,000
国際電信電話株式会社沖縄支社	100,000
社団法人 福島県観光連盟	63,000
沖縄ビル・メンテナンス株式会社	50,000
社団法人　沖縄県測量設計業協会	215,000
沖縄県調理師団体協議会	30,000
牧港建設（株）	50,000
南西石油株式会社	300,000
日本生命保険相互会社	10,000
（社）沖縄県宅地建物取引業協会	1,000,000
（社）茶道裏千家淡交会　沖縄支部	50,000
国際デジタル通信株式会社沖縄営業所	100,000
糸嶺トヨ子	100,000
沖縄県酒造組合連合会	300,000
東京海上火災保険株式会社	500,000
ＪＴＢ協定旅館ホテル連盟沖縄支部	1,000,000
沖縄ナショナル特機株式会社	100,000
沖縄電力株式会社	1,000,000
沖縄松下ライフエレクトロニクス株式会社	50,000
有限会社沖縄マイクロセンター	50,000
沖縄県金融協会	2,000,000
小禄ボーリング	1,000,000
琉球セメント株式会社	1,000,000
国際ソロプチミスト沖縄	100,000
株式会社　ニッタ	20,000
株式会社りゅうせき燃料	150,000
南西燃料株式会社	150,000
合資会社　丸石設備	10,000
有村産業株式会社	100,000
古波鮫敏子	5,000
計	14,023,000

■ 協賛企業一覧

単位：円

所　　属	金　額
国際電信電話（株）沖縄支社	3,500,000
オリオンビール（株）	3,000,000
ＮＴＴ沖縄支店	3,000,000
沖縄ケーブルネットワーク（株）	3,000,000
国際デジタル通信（株）	3,000,000
沖縄コカ・コーラボトリング（株）	3,000,000
沖縄電力（株）	2,000,000
（株）國場組	750,000
（株）國和会事務局	750,000
（株）屋部土建	1,500,000
日本たばこ産業（株）沖縄支店	1,500,000
全労済沖縄県支部	1,000,000
福山商事（株）	1,000,000
（株）金秀本社	1,000,000
（株）久米島の久米仙	1,000,000
琉球ガラス村	500,000
ジェイティービー沖縄（株）	500,000
（有）浦添産業	500,000
（株）日本エアシステム沖縄支店	500,000
日本テレコム沖縄支店	500,000
ＪＡ沖縄中央会	300,000
尚学院	300,000
オキコ（株）	300,000
沖縄瓦斯（株）	300,000
大同火災海上保険（株）	300,000
（株）ジミー	300,000
琉球海運（株）	300,000
瑞泉酒造（株）	300,000
（株）りゅうせき	250,000
沖縄県砂利採取事業協同組合	1,000,000
ライオンズマンション協力会	1,000,000
合　　計	36,150,000

■ 寄付物品一覧

寄付物品	数　量	寄付者
サーターアンダギー（湯茶接待）	3000個	料亭松の下
タンナファクルー（フィナーレ）	1000個	マルタマ製菓
クッキー詰め合わせ（開会式お土産）	3000個	ジミー

■「第２回世界のウチナーンチュ大会」募金要綱

1　趣旨

本県では第３次沖縄振興開発計画において、本県を「我が国の南における国際交流の拠点」として位置づけるとともに、国際交流推進のために様々な施策を展開しているところであるが、このたび、県内外のウチナーンチュ及び本県と縁のある外国人等多数の参加のもと「第２回世界のウチナーンチュ大会」(以下：「大会」とする。）が開催されるにあたり、この大会をより一層意義のあるものにするため、広く県内外の各界各層からの理解と協力による募金を実施し、大会の成功を期する。

2　募金の名称

「第２回世界のウチナーンチュ大会募金」とする。

3　募金の実施

募金の推進及び実施は、「第２回世界のウチナーンチュ大会」実行委員会事務局が行う。

4　募金の目標額

３千万円

5　募金の期間

平成７年６月１日から平成７年11月30日までとする。

6　募金の使途

「第２回世界のウチナーンチュ大会」に係る経費に充当する。

7　募金の対象

県内外の法人、団体及び個人を対象とする。

8　募金の方法

募金は「実行委員会」が発行する申込書により応募し、納付は県の発行する納入通知書により取扱金融機関へ払込む。払込みの方法は現金及び小切手のいずれかによるものとする。

9　その他

この要綱に定めるもののほか、募金実施について必要な事項は別に定める。

附　則

この要綱は平成７年６月１日から実施する。

「第２回世界のウチナーンチュ大会」募金協力趣意書

本県はわが国有数の移民県であり、戦前・戦後を通じて多くの県民が海外へ雄飛し、今日では海外に在住する県系人は約30万人に達すると言われております。

１世から４世までを含めたこれら多くの県系人は、その移住先国にしっかりと定着し、政治や経済、文化から学術等に至る様々な分野において活躍され、その国の開発及び発展に寄与すると共に、本県と在住国との架け橋として大きな役割を果たしてまいりました。

こうした貴重な人的財産の有機的ネットワークの確立を目的とし、平成２年８月に「世界のウチナーンチュ大会」を開催したところ、世界17ヶ国、41地域より2,397人が参加したのをはじめ、全体での延べ参加者が約47万人に達するなど、大きな盛り上がりのなか大成功をおさめました。

あれから４年有余が経過した今、第１回大会の成功を踏まえて、ウチナーンチュ及び沖縄と関わりのある人々を中心とした国際ネットワークをさらに拡大・充実・発展させ、産業・経済・文化・学術等あらゆる分野での交流事業を展開し、本県の地域活性化及び相手国の発展への寄与を目的とした、「第２回世界のウチナーンチュ大会」を開催することと致しました。

今年は大平洋戦争・沖縄戦終結50周年の節目にあたり、平和の実現、維持に国際交流の果たす役割が高まるなか、今回の大会においては、前回にも増した成果を挙げるべく、実行委員会事務局を中心に連日の作業に取組んでいるところであります。

つきましては、日頃から本県の発展に深い御理解と御協力をお寄せ頂いております貴台から、大会の趣旨への御賛同と御厚志にあずかりたく、出費多端の折誠に恐縮ではありますが、格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成７年６月１日

「第２回世界のウチナーンチュ大会」実行委員会
会　長　　大　田　昌　秀
（沖縄県知事）

6．ワッペン及び印刷物

大会事務局は、大会期間中海外から参加した世界のウチナーンチュが識別でき、いろいろな面で便宜が図れるようワッペンやバス無料乗車証、優先入場証など発行した。また、参加者に催し物の概要、開催時期、場所等が分かるように交通案内図、イベント別に4か国語（日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語）で記したリーフレットを作成＝巻頭グラビア参照＝配布した。

制作物種類	配布対象	配布方法	制作枚数	制作意図
ワッペン赤（海外特別招待者）	海外VIP	オープニングセレモニー受付にて	30	＊ワッペンの色によって海外／国内を識別する ＊表示の内容によって役割・国名・名前を識別する ＊大会期間中の全てのイベントの優先入場を確保する
（海外参加者）	海外一般参加者（役割なし）	事前郵送	3,530	
（海外功労者）	海外功労者	事前郵送	100	
（ウチナーンチュ民間大使）	ウチナーンチュ民間大使	事前郵送	150	
（ワールド・ウチナーンチュフォーラム）	フォーラム海外パネリスト	事前郵送	35	
（ジュニアサミット）	ジュニアサミット海外参加者	事前郵送	45	
ワッペン白（国内特別招待者）	県内／県外VIP	オープニングセレモニー受付にて	30	
（国内招待者）	国内一般招待者	事前郵送	969	
（ウチナーンチュ民間大使会議）	民間大使会議県内コーディネーター	事前郵送	6	
（ワールド・ウチナーンチュフォーラム）	国内コーディネーター パネリスト／基調講演者	事前郵送	15	
（ジュニアサミット）	ジュニアサミット県内参加者	事前郵送	5	
参加カード赤（日・英・西・ポ併記）	海外招待者（歓迎レセプションあり）	事前郵送	300	＊オープニングセレモニーにおいて各参加者の着席位置を持参したカードの色により特定する ＊海外参加者の沖縄滞在に関する最新データを収集する
ピンク（日・英・西・ポ併記）	海外一般招待者（歓迎レセプションなし）	事前郵送	300	
黄（日・英・西・ポ併記）	海外一般招待者（役割なし）	事前郵送	3,200	
受付カード　赤	国内一般招待者（歓迎レセプションあり）	事前郵送	200	
青	国内一般招待者（歓迎レセプションなし）	事前郵送	600	
バス無料乗車券	VIPを除く全海外参加者	事前郵送	3,530	＊海外参加者滞在中の交通の便宜を図る
公式スケジュール　日・英	英語圏海外参加者	事前郵送	2,000	＊海外参加者他に最終的な大会スケジュールを周知徹底させる
日・西	スペイン語圏海外参加者	事前郵送	1,000	
日・ポ	ポルトガル語圏海外参加者他	事前郵送	1,000	
交通案内図（日・英・西・ポ併記）	全参加者／招待者	事前郵送	3,500	＊各参加者に会場の場所・アクセス等を周知徹底させる
駐車許可証　赤	VIP／実行委員／民間大使 フォーラム出席者など	事前郵送	200	＊会場周辺の駐車場利用配分を円滑に行う ＊色分けによって配布対象者を区別する ＊裏面には駐車場配置図を印刷する
ピンク	VIP／実行委員／民間大使 フォーラム出席者など	事前郵送	400	
青	出演者・スタッフ他	説明会にて配布	2,000	
緑	テナント・業者・スタッフ他	説明会にて配布	500	
入構許可証　白	県内一般招待者（一部）	事前郵送	300	＊各指定車両の会場への入構を円滑に行う

No	印刷物名	版型	頁数	色数	翻訳	部数	配布対象／場所／方法	内容（備考）
01	奉納芸能祭(パンフレット)	B5変形	4	2	英西ポ	1,000	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・出演者等
02	ウチナーンチュ民間大使会議(パンフレット)	B5変形	14	2	英西ポ	1,000	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・テーマ・出席者・広告等
03-1	ワールド・ウチナーンチュフォーラム(パンフレット)	B5変形	12	2	英西ポ	2,000	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・テーマ・出席者・広告等
03-2	同基調講演用入場整理券	65×150	2	1	英西ポ	600	一般県民他／県庁他／事前配布	概要・広告等（入場希望者に事前配布）
04-1	芸能交流祭(ミュージックフェスティバル)	B5変形	8	2	英西ポ	10,000	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・出演者・広告等
04-2	同イベント用入場整理券	65×150	2	1	英西ポ	3,000×2日	一般県民他／県庁他／事前配布	概要・広告等（入場希望者に事前配布）
05-1	芸能交流祭（組み踊りと舞踊、郷土芸能、芝居と民謡)(パンフレット)	B5変形	12	2	英西ポ	5,000	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・出演者・広告等
05-2	同イベント用入場整理券	65×150	2	1	英西ポ	2,000×2日	一般県民他／県庁他／事前配布	概要・広告等（入場希望者に事前配布）
06	サッカー交流祭(パンフレット)	B5変形	8	2	英西ポ	600	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・参加チーム・広告等
07	国際交流ゲートボール大会(パンフレット)	B5変形	8	2	英西ポ	1,300	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・参加チーム・広告等
08	ジュニアサミット(パンフレット)	B5変形	6	2	英西ポ	500	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・参加者等
09	沖縄角力大会(パンフレット)	B5変形	8	2	英西ポ	1,000	参加者・来場者／会場／手渡し	概要・参加者・広告等
10	ワールド・ウチナーバザール(パンフレット)	B4	2	2+2	―	100,000	参加者・来場者／会場／手渡し	大会スケジュール・地図・(バザール出店業者等)
11	総合プログラム	B4	40	4	英西ポ	5,000	海外参加者／オープニング・セレモニー受付／手渡し	大会全イベントの概要・広告等
12	インフォメーション・ガイド	A5変形	16	1	英西ポ	5,000	海外参加者／オープニング・セレモニー受付／手渡し	大会スケジュール・地図・観光施設割引特典等
13	大会用チラシ	A4	2	4+1	―	50,000	一般県民・関係機関／―／街頭配布・郵送等	大会スケジュール・地図等（事前告知用）
14	大会用ポスター	B2	1	4	―	3,000	関係諸機関／―／事前配布	大会スケジュール等（直前告知用）

7．会場管理関係

■1．警　備

大会会場の警備及び車両誘導と駐車場の整理は、沖縄コンベンションセンター常駐の警備体制を考慮に入れた上で、業者に委託した。委託業務の内容は右のとおりである。

警備対象	期　間	時　間	人　数
首里城奉納芸能祭会場	11月16日	17:00－22:00	6人
バザール会場	11月14日 ｜ 11月19日	19:00－翌朝9:00	各2人
展示場	11月16日	10:00－15:30	6人
	11月17日 ｜ 11月19日	17:00－21:30	各6人
交通誘導	11月16日	9:00－17:00 9:00－22:00	18人 10人
	11月17日 ｜ 11月19日	9:00－22:00	各22人

■2．医療対策

1．メイン会場（コンベンションセンター）

救急処置及び急病者等の手当など医療関連業務には、会場に近い海邦病院の全面的な協力を得た。4日間を通して会場内に救護所を設置、医務要員1人と海邦病院より派遣の看護婦1人が処置にあたった。期間中の処置状況の内訳は以下のとおりである。

	処置件数	うち病院移送件数	うち入院件数
11月16日	7件	0件	0件
11月17日	4件	0件	0件
11月18日	5件	1件	0件
11月19日	10件	0件	0件
合　計	26件	1件	0件

2．サッカー交流祭・国際交流ゲートボール大会（沖縄県総合運動公園）

サッカー交流祭・国際交流ゲートボール大会の会場となった沖縄県総合運動公園には、中部徳州会病院より毎日看護婦2人の派遣と救急車待機の協力を得た。試合中軽傷等が絶えないため、処置は多数にのぼったが、病院へ移送されたのは3件にとどまり、入院にいたるものはなかった。また、ゲートボール大会での処置はなかった。

■3．保険関係

保険の種類	保　健　範　囲	対　象	保険金額（支払限度額）
施設管理者 賠償責任保険	1．沖縄コンベンションセンター (1) 劇場 11/15～19　沖縄芸能交流祭 11/17　組踊りと舞踊 11/18　郷土芸能 11/19　芝居と民謡 (2) 会議場 11/15～19 11/17～18 ウチナーンチュ民間大使会議 11/17～19 ワールドウチナーンチュフォーラム 11/18 ジュニアサミット (3) 展示場 11/15～19 11/16 オープニングセレモニー 11/17～18 沖縄芸能交流祭 ミュージックフェスティバル 11/18 ジュニアサミット交流会 11/19 フィナーレ＆レセプション 2．宜野湾海浜公園多目的広場 11/15～19 ワールド・ウチナーバザール 3．宜野湾市立体育館 11/15～19 ワールド・ウチナーバザール 4．首里城公園 11/15～19 11/16　奉納芸能祭 5．沖縄ハイツ 11/15～19 11/17　ウチナーンチュ民間大使会議 11/18　ワールド・ウチナーンチュフォーラム 6．前夜祭パレードに係わる観客に対する賠償 11/15 壺屋小学校～国際通り～県庁 7．沖縄県総合運動公園 11/15～11/19 11/18～11/19　サッカー交流祭 11/18～11/19　国際交流ゲートボール大会 8．沖縄県総合運動公園レクリエーションドーム	席 1,800 面積（m²） 720 入場者 30,000人 面積（m²） 24,688 入場者 30,000人 面積（m²） 23,465 入場者 30,000人 入場者 30,000人 面積（m²） 23,465 面積（m²） 7,194	身　体 1名　5,000万円 1事故　5億円 (免責金額1事故につき1,000円) 財　物 1事故　1,000万円 (免責金額1事故につき1,000円)
生産物賠償責任保険	1．宜野湾海浜公園多目的広場 11/15～19 11/16～19　ワールド・ウチナーバザール	売上高 300万円	身　体 1名　3,000万円 1事故　1億円 (免責金額1事故につき1,000円)

保険の種類	保　健　範　囲	対　象	保険金額
			財　物 1事故　100万円 期間中　300万円 (免責金額1事故につき1,000円)
受託者賠償責任保険	1．放送設備、照明設備補償 (1) 沖縄コンベンションセンター会議場・劇場・展示場 11/15～19 (2) 沖縄県総合運動公園 11/15～19 (3) 首里城公園 11/15～19 (4) 沖縄ハイツ 11/15～19	補償限度額 3,000万円	保険金合計 3,000万円 (免責金額1事故につき5,000円)
	(5) 宜野湾市立体育館 11/15～19	補償限度額 1,000万円	保険金合計 1,000万円 (免責金額1事故につき5,000円)
傷害保険	1．世界のウチナーンチュ大会期間中の会場及び指定駐車場 (首里城公園・沖縄ハイツ等含む)	1.海外からの参加者	死亡・後遺　1,000万円 入　院　10,000円 通　院　5,000円
	2．世界のウチナーンチュ大会期間中の会場及び指定駐車場 (首里城公園・沖縄ハイツ等含む)	2.大会運営ボランティア	
	3．前夜祭パレード 11/15 壺屋小学校～国際通り～県庁	3.前夜祭パレード 参加者1,000名	
	4．サッカー交流祭 11/18～19沖縄県総合運動公園	4.サッカー交流祭 参加者350名	
	5．国際交流ゲートボール大会 11/18～19沖縄県総合運動公園	5.ゲートボール大会 参加者1,000名	
	6．ジュニアサミット 11/16～18 ジュニアサミット体験航海	6.ジュニアサミット体験航海 参加者33名	死亡・後遺　3,000万円 入　院　8,000円 通　院　5,000円
	7．沖縄角力大会 11/19　ワールド・ウチナーバザール内特設会場	7.沖縄角力大会 参加者50名	死亡・後遺　500万円 入　院　7,500円 通　院　5,000円

※ 今回は賠償保険2件とサッカー交流祭で障害保険3件の適用があった。

■4．交通・駐車場対策

1）アクセスと駐車場対策

前回を上回る海外からの参加と自家用車による来場が多数となることが予想されたため、公共交通機関の利用呼びかけと駐車スペース確保に重点をおいた対策が要求された。駐車場確保と車両入場予定数については、1日平均4万6千人と想定。うち1台あたりに平均3人来場、会場滞在時間平均3時間、1台分スペース当たり1日4回転の計算として、4500台余の駐車場が必要となった。

2）公共交通機関（路線バス）の利用

会場の沖縄コンベンションセンター付近には路線バスの真志喜停留所があり、14の路線、系統番号20、21、22、23、24、27、28、29、31、63、77、80、112、120のバスが運行している。これらの運行量は那覇発の下りが1日554台、那覇行の上りが537台で、来場者にはバスの利用が呼びかけられ、海外からの参加者には路線バスの無料乗車証が配布された。

3）海外参加者の移動手段について

今回、海外からの参加者には、社団法人沖縄県バス協会の協力により、大会期間前後（11月10日から11月24日）有効のバス無料乗車証（巻頭カラー参照）が配布された。また、大型バスをチャーターで利用する団体もあり、海外からの参加者の移動は円滑に行われた。

4）会場周辺の駐車場と輸送体制について

コンベンションセンター内の駐車場収容量が750台余と限られているため、これを大会運営スタッフ及び関係者用とし、一般来場者には北谷サンセットビーチ隣駐車場（1500台収容）、サンエー本社前駐車場（2000台）と牧港浦添漁港駐車場（400台）を確保した。これらの駐車場と会場の間はシャトルバスがピストン運行し（別表参照）、全体で4650台分の駐車スペースが、大会期間中9割以上の延べ稼働率で利用された。

シャトルバスの運行状況

一般入場者用の駐車場と会場間のシャトルバスの運行状況は以下のとおりである。

8：30	牧港浦添漁港駐車場
～	↓ ↑
～	真志喜バス停
22：00	↓ ↑
（2台循環）	沖縄コンベンションセンター

8：30	サンエー本社前駐車場
～	↓
～	沖縄コンベンションセンター
22：00	↓
（1台循環）	宜野湾市立体育館前

１２：００	北谷サンセットビーチ駐車場
↓	↓
	沖縄コンベンションセンター
↓	↓
	宜野湾市立体育館前
２２：００	↓
（１台循環）	サンエー本社前

このほか、那覇市内でおこなわれた歓迎レセプション、奉納芸能祭（16日）の参加者や出演者、沖縄県総合運動公園でのサッカー交流祭、ゲートボール大会の出場者のためにバスが運行された。

■5．緑化整備対策

第２回世界のウチナーンチュ大会のメイン会場ー沖縄コンベンションセンターを県民の燃える気持ちと肝清らさを草花で表現しようと南部農林高校、中部農林高校、北部農林高校の職員と生徒が連携して、日頃の授業の成果を発揮し、熱帯果樹、観葉植物、そして色鮮やかなランの花で会場をディスプレイした。

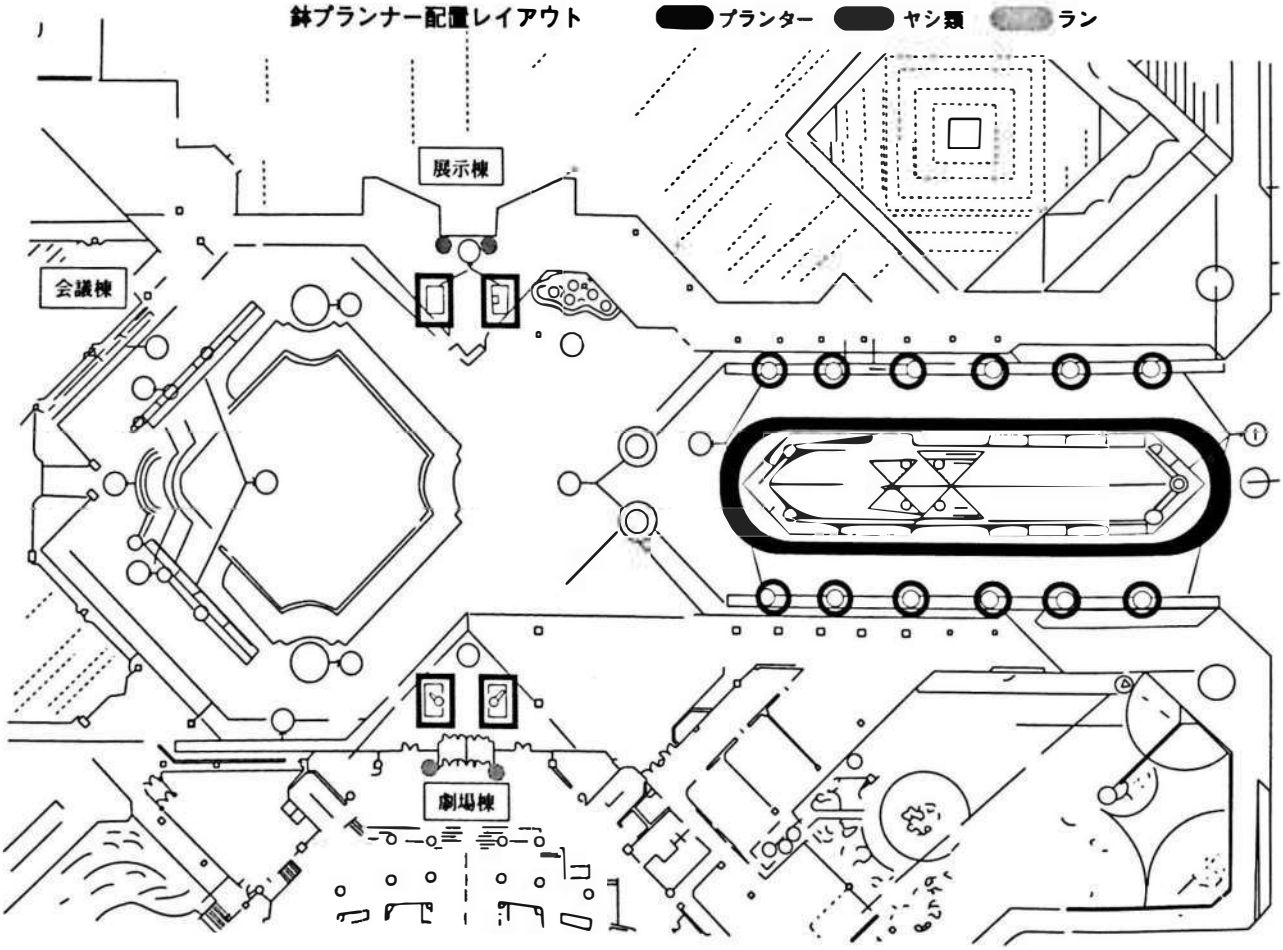
南部農林高校は、マリーゴールド、キバナコスモス1,000鉢で会場棟のスロープ、観葉植物50鉢で展示棟の壁や柱、デンファレの切り花500本を材料にして展示棟の入口左右を装飾した。

中部農林高校は、マリーゴールド、キバナコスモス1,000鉢で池、パーゴラ池前、観葉植物12鉢で柱や展示場のモルタル壁を飾った。

北部農林高校は、パーゴラ池、観葉植物30鉢で柱、デンファレ15鉢で鐘桜、円い花壇、パーゴラ池、観葉植物30鉢で柱、デンファレ15鉢、コチョウラン15鉢で劇場棟入口を華やかにした。

マリーゴールド、キバナコスモスは沖縄緑化開発センターが、種まき、育苗し、３農林高校が管理した。宮里朝光指導主事（沖縄県立教育センター農業教育分室）がトータル的な指導を行った。

なお、この企画には民間企業の協力があった。



	配　置　箇　所	内　容	北農	中農	南農
A	駐車場と池・鐘楼との間の円い花壇	プランター24個	◎		
		5号、8号観葉	◎		
B	池と鐘楼の周り　前	プランター75個	◎		
	池と鐘楼の周り　奥	プランター58個		◎	
C	通用口廊下の柱7本(右側)	尺鉢28鉢		◎	
D	通用口廊下の柱7本(左側)	尺鉢28鉢			◎
E	イベントホールからの軒柱(右側)	柱を巻く・観葉尺、8号	◎		
F	劇場棟からの軒柱(左側)	柱を巻く・観葉尺、8号	◎		
G	イベントホール入口右側のモルタル壁	ディスプレー(10m)・観葉・タン・切花		◎	
H	劇場棟入口左側のモルタル壁	壁の装飾・観葉尺8,5,合わせ			◎
I	イベントホール入口左右	入口左右デンファレの柱(金網の柱)観			◎
J	劇場棟入口の左右	入口左右デンファレの柱観葉鉢物	◎		
K	イベントホール前の柱2本	観葉尺8号で囲む			◎
L	劇場棟前の柱2本	観葉尺8号で囲む		◎	
M	バーゴラ池前の左右	プランター58個		◎	
N	バーゴラ池のStage	ブーゲンビレア尺鉢	◎		
O	会議棟前左右のスロープ	プランター70個			◎

1.観葉植物類

品　名		規　格	数　量
北農	デンファレ	3号	15
〃	コチョウラン	3号	15
〃	ベンジャミナ	8号	10
〃	コンシンナ	8号	10
〃	バナナ	8号	10
中農	アレカヤシ	12号	11
〃	アレカヤシ	13号	1
南農	ソングオブ	10号	50
〃	デンファレ	切り花	500

2.草花類(プランター用)

品　名		規　格	数　量
北農	サルビア苗	ポット苗	750
〃	プランター	62ﾁﾝ	150
中農	サルビア	タネ	5
〃	マリーゴールド	タネ	5
南農	マリーゴールド	3寸	1,000

III 広報関係

1．広報実施状況

■市町村懸垂幕掲示状況

県内全市町村に懸垂幕制作（市町村負担）及び掲示をお願いした。53市町村のうち、以下の市町村が懸垂幕、横断幕、パネル等を制作、掲示を行った。

浦添市、糸満市、沖縄市、石川市、宜野湾市、国頭村、大宜見村、本部町、恩納村、伊江村、与那城町、嘉手納町、玉城村。

■インターネットで世界へ情報発信

ウチナーンチュ大会を世界にアピールするため、1995年６月19日からインターネットを通じてウチナーンチュ大会情報の発信を開始した。

１９９５年１１月生まれ島で会いましょう。
まじゅん語やびら、世界の、沖縄の２１世紀。

再会を喜びあう固い握手。あふれる思いに自然に流れ出す涙。カチャーシーのリズムとともに揺れ動く人の波・・・。あれから５年。国境を、言葉の壁を乗り越えてウチナーンチュの血が熱く燃えた４日間のドラマが、再び戻ってきます。

第２回世界のウチナーンチュ大会。沖縄を遠く離れ世界の国々に暮らすウチナーンチュがふるさとに集い語らう感動のイベントの開催が、沖縄県より正式に発表されました。

大会日程は、1995年11月16日から19日までの４日間。キーワードは「海を越え、言葉を越えて」。世界と沖縄で暮らすウチナーンチュが芸能・文化・スポーツ・教育・産業など、幅広い分野で互いに手を取りあい、21世紀の繁栄に向けてのネットワークをつくりあげることが目的です。イベントの主役となるのは、世界の様々な国でご活躍中の海外在住のウチナーンチュの皆さん。ぜひ、この機会にふるさとの沖縄を訪れるとともに、熱く、心あたたまる４日間のふれあいを、私たちと共有してください。

■　電光広告搭の活用

第２回世界のウチナーンチュ大会開催を広く県民へ知らせるとともに大会への参加、協力を呼びかけるため３月９日から11月19日まで県の電光広告搭（県庁前）で右のような広報文を流した。

広報内容

流　動	静　止	交　互
第二回世界のウチナーンチュ 大会開催　九五年一一月一六 日から一九日まで	海を越え、言葉を越えて	まじゅんあしばな語やびら 世界の、沖縄の二十一世紀

V ・

1．琉球新報	1995年８月８日（火）	全15段フルカラー・100日前告知
	1995年10月17日（火）	全５段モノクロ・30日前告知
	1995年11月15日（水）	全15段フルカラー・大会前日
2．沖縄タイムス	1995年８月８日（火）	全15段フルカラー・100日前告知
	1995年10月17日（火）	全５段モノクロ・30日前告知
	1995年11月15日（水）	全15段フルカラー・大会前日
3．宮古毎日新聞	1995年10月17日（火）	全３段モノクロ・30日前告知
	1995年11月12日（日）	全５段モノクロ・１週間前告知
4．宮古新報社	1995年10月17日（火）	全３段モノクロ・30日前告知
	1995年11月12日（日）	全５段モノクロ・１週間前告知
5．八重山毎日新聞	1995年10月17日（火）	全３段モノクロ・30日前告知
	1995年11月12日（日）	全５段モノクロ・１週間前告知
6．八重山日報	1995年10月17日（火）	全３段モノクロ・30日前告知
	1995年11月12日（日）	全５段モノクロ・１週間前告知
7．サンパウロ新聞	1995年９月７日（木）	74（天地）×123（左右）m／m モノクロ
8．らぷらた報知	1995年11月４日（金）	15cm×30cm

e r

1．スポット	沖縄テレビ	1995年11月6日（木）～11月16日（木）68本
	琉球放送	1995年11月10日（金）～11月16日（木）30本
	琉球朝日放送	1995年11月10日（金）～11月16日（木）30本
2．特別番組	沖縄テレビ	1995年11月16日（木）16:00～17:24　開会式
		1995年11月18日（土）15:30～16:52
		ウチナーンチュ民間大使大いに語る。
		1995年11月26日（日）14:30～15:24 総編集

W I

1．スポット	ラジオ沖縄	1995年10月26日（木）～11月19日（日）125本
	琉球放送	1995年11月１日（水）～11月16日（木）74本
	FM沖縄	1995年11月１日（水）～11月16日（木）80本
2．特別番組	ラジオ沖縄	1995年11月15日（水）14:00～21:00
		1995年11月16日（木）10:00～21:00
		1995年11月17日（金）10:00～21:00
		1995年11月18日（土）7:00～19:30
		1995年11月19日（日）11:00～21:00
	ケイズ放送	1995年11月16日（木）～11月19日（日）
	（ハワイ）	1995年13:15～14:15

G

1．県広報誌	９月「大きな和」Ａ４、１頁、フルカラー

2．シンボルマーク、キャッチフレーズ

シンボルマーク

第１回大会マークのイメージを継承しつつも、結び合う手と手により、ウチナーンチュネットワークがより強固で充実したものであること表現。第２回大会の基本理念「さらなる国際交流ネットワークの構築を目指して」にふさわしい、“世界のウチナーンチュがしっかりと手を結び、結束をより確かなものにすること”を鮮やかにイメージさせるものである。

キャッチフレーズ

「海を越え、言葉を越えて」

ふるさと沖縄を後に広大な海を越え、身をもって「万国津梁」（ばんこくしんりょう）の民であることを証明した移民１世。言葉の壁をはじめとした様々なハンディキャップを乗り越えて今日を築いた先駆者達の功績を称えるとともに、日本語を解さない３世・４世の若い世代も父祖の地・沖縄へ戻ってくること、さらに第２回大会で充実・強化が図られるウチナーンチュネットワークが国境と言葉の違いを越えたものであることをキャッチフレーズに託した。

3．テーマソング

本大会の開催を内外にＰＲするために、大会テーマソングを作成。有識者数名からなる選考委員会を設置、検討の後、ディアマンテスの「片手に三線を」に決定。

● 審査委員　祖　堅　方　正　（県立芸大教授）
　〃　上　原　直　彦　（ＲＢＣディレクター）
　〃　名　嘉　睦　稔　（プロジェクトコア代表）
　〃　照喜名　朝　一　（琉球古典音楽指導者）
　〃　船　越　義　彰　（作　家）

● テーマソング公募経過

1995年	1月	21人のアーチストを指名公募開始
	2月20日	指名公募締切
	2月27日	第1回選考委員会
	3月10日	第2回選考委員会
	5月2日	記者会見発表会

応募総数　9曲

● テーマソング入選作

「片手（かたて）に三線（さんしん）を」

作詞　アルベルト城間
　　ボ　ブ　石　原
　　伊　狩　典　子

作曲　アルベルト城間

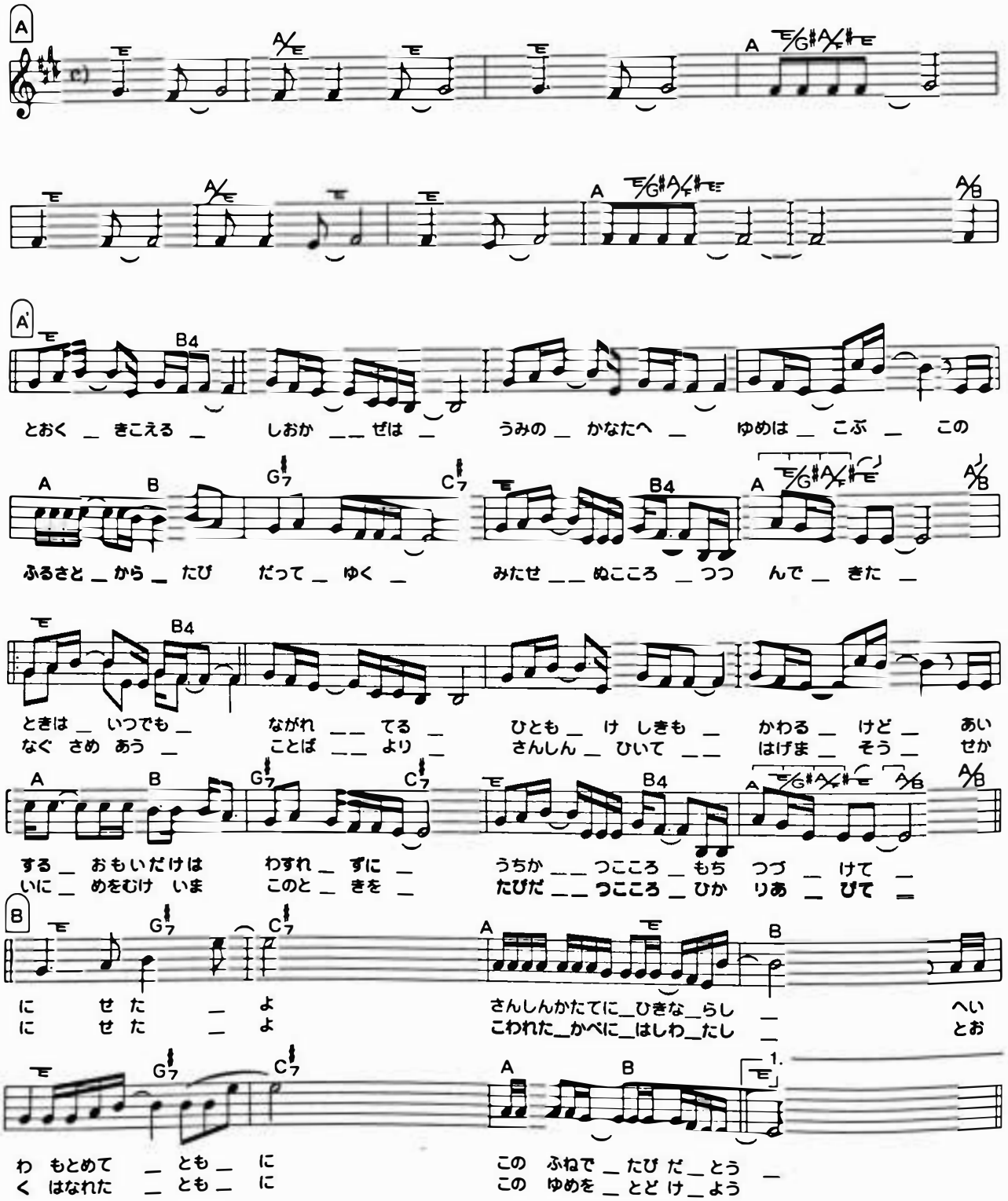
歌唱・演奏：ディアマンテス

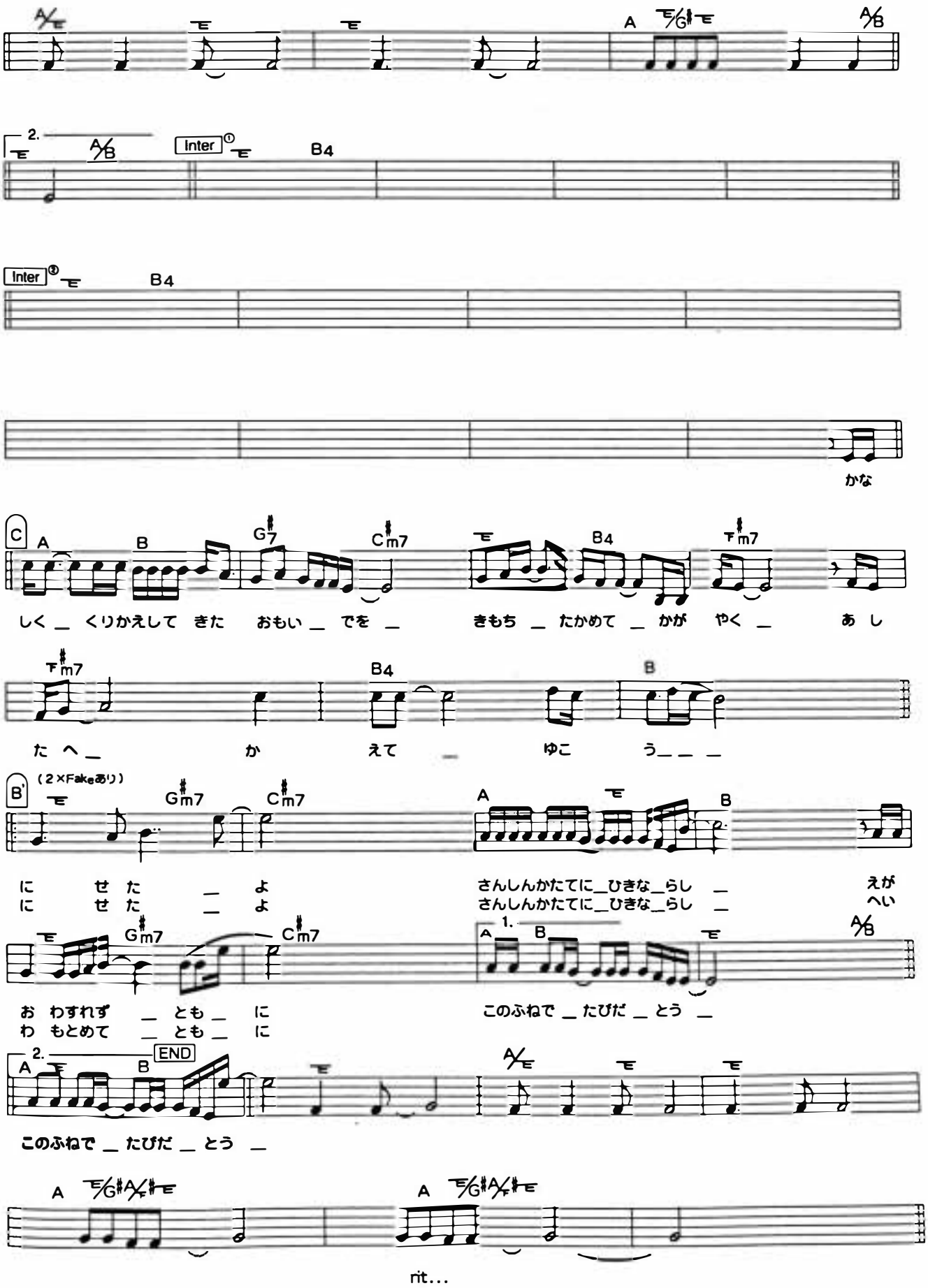
DIAMANTES

片手に三線(さんしん)を

Con el sanshin en la mano

作詞　アルベルト城間
　　ボブ石原
　　伊狩典子
作曲　アルベルト城間




A/E
A
E/G♯
A/B
2.
Inter ①
B4
Inter ②
かな
C
A
B
G♯7
C♯m7
F♯m7
しく＿ くりかえして きた おもい＿ でを ＿ きもち ＿ たかめて ＿ かが やく ＿ あ し
た へ＿ か えて ＿ ゆこ う＿＿＿
B'
(2×Fakeあり)
G♯m7
に せ た ＿ よ
に せ た ＿ よ
さんしんかたてに＿ひきな＿らし ＿ えが
さんしんかたてに＿ひきな＿らし ＿ へい
1.
お わすれず ＿ とも＿ に
わ もとめて ＿ とも＿ に
このふねで ＿ たびだ ＿ とう ＿
END
rit...

4．シンボルマーク等取扱規程及び行催事後援取扱要領

第2回世界のウチナーンチュ大会シンボルマーク取扱規程

第2回世界のウチナーンチュ大会のシンボルマーク取扱規定を次のように定める

（趣　旨）

第1条　この告知は、第2回世界のウチナーンチュ大会シンボルマーク（以下「大会マーク」という）の取扱について必要な事項を定めるものとする。

（使用申請）

第2条　国及び他の地方公共団体以外の者が大会マークを使用する場合には、第2回世界のウチナーンチュ大会シンボルマーク使用承認申請書（別記様式）を第2回世界のウチナーンチュ大会実行委員会（以下大会委員会という）に提出しなければならない。

（使用の承認）

第3条　大会実行委員会は、前条の申請が次の各号に適合していると認めるときは、大会マークの使用を承認するものとする。

（1）第2回世界のウチナーンチュ大会実行委員会が制定した大会マークであること。

（2）大会のピーアールを図るための広報に協力するものであること。

（3）大会マークを使用して販売する物品の価格が不適当なものでないこと。

（4）その他大会の品位と信用を傷つけるおそれがないものであること。

2　前項の承認には、必要な条件を付することができる。

（1）営利目的の場合、原則として協賛企業を承認する。

第4条　大会実行委員会は、承認を受けないで大会マークを使用している者、又は前条第2項の規定により付せられた条件に違反して大会マークを使用した者に対して大会マークの承認を取り消し、又は使用物件の回収を求めるなどの措置をとるものとする。

附　則

この告示は、公布の日から施行する。

第2回世界のウチナーンチュ大会シンボルマーク使用承認申請書

第2回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会　　殿

所　在　地

名　　称

代表者名　　印

下記により第2回世界のウチナーンチュ大会シンボルマークを使用したいので承認願います。

1　使用目的
2　使用対象
3　使用方法
4　使用期間
　平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日
5　添付書類

大会マークを使用しようとする事業に関する企画書（商品については製造価格、又は販売価格、商品見本、製造数量、広告等については、広告の原稿、広告費用、製作数量、広告計画等を明記すること。）及び会社経歴書を添付すること。

第２回世界のウチナーンチュ大会テーマソング取扱規程

第２回世界のウチナーンチュ大会テーマソング取扱規定を次のように定める。

（趣　旨）

第１条　　この告示は、第２回世界のウチナーンチュ大会テーマソング取扱について必要な事項を定めるものとする。

（使用の申請）

第２条　　国及び他の地方公共団体以外のものが、テーマソングを使用する場合は、第２回世界のウチナーンチュ大会テーマソング使用申請（別記様式）を大会実行委員会に提出しなければならない。

（使用の承認）

第３条　　大会実行委員会は、前条の申請が次の各号に適合していると認めるときは、テーマソング使用を承認するものとする。

（１）第２回世界のウチナーンチュ大会実行委員会が制定したテーマソングであること。

（２）大会のピーアールを図るための広報に協力するものであること。

（３）大会の品位と信用を傷つけるおそれのないものであること。

２　前項の承認には、必要な条件を付すことができる。

第４条

大会実行委員会は、承認を受けないでテーマソングを使用している者、又は、前条の規定により付けられた条件に違反してテーマソングを使用した者に対してテーマソングの使用承諾を取り消し、又は、使用差し止めなど必要な措置をとるものとする。

附　則　　この告示は、交付の日から施行する。

別記様式（第２条関係）

第２回世界のウチナーンチュ大会　テーマソング　使用承認申請書

第２回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会　　殿

所　在　地

名　　称

代表者氏名　　印

下記により第２回世界のウチナーンチュ大会　テーマソングを使用したいので承認願います。

１使用目的
２使用対象
３使用方法
４使用期間
　平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日
５添付書類

　テーマソングを使用しようとする事業に関する企画書（商品については製造価格、又は販売価格、商品見本、製造数量、広告等については、広告の原稿、広告費用、製作数量、広告計画等を明記すること。）及び会社経歴書を添付すること。

「第２回世界のウチナーンチュ大会」に係る行催事の後援等に関する取扱要領

(趣旨)

第１条　この要領は「第２回世界のウチナーンチュ大会」実行委員会（以下「実行委員会」という）に対する行催事の後援、協賛（以下「後援等」という）の申請について承認をする場合に必要な基準等を定めるものとする。

(後援、協賛の承認の基準)

第２条　実行委員会会長は第２回世界のウチナーンチュ大会を盛り上げるのに効果があると認められ、かつ適当と認められる行催事について後援、協賛の承認申請があった場合には、これを承認することができる。ただし、次の各号の一に掲げる行催事はこの限りではない。

（１）個人の行催事
（２）営利団体が行う営利のみを意図した仕事
（３）実行委員会の大会開催趣旨及びその実施に反する行催事
（４）政治的または宗教的目的のみを意図した行催事
（５）その他実行委員会会長が不適当と認める行催事

(承認申請の手続き)

第３条　後援等の承認の申請をしようとする者は、承認申請書を行催事開催日の14日前までに実行委員会会長に提出しなければならない。

(承認の審査及び決定)

第４条　前条の規定による申請があった場合は、実行委員会会長は第２条の基準に基づいて審査し、承認するかどうかを決定するものとする。

２　実行委員会会長が前項の承認をしたときは、当該申請書に対して承認書を交付するものとする。

(後援等の名義)

第５条　行催事の後援等の名義は、「第２回世界のウチナーンチュ大会実行委員会」とする。

(後援等名義使用の取り消し)

第６条　実行委員会は第４条に定める承認の決定の後においても承認基準に反する事項が生じた場合は、後援等の名義の使用を取り消すことができる。

附　則

この要領は、平成７年６月１日から施行する。

5．キャラバン隊の行動記録

国内外及び国内各地の県系人に第2回世界のウチナーンチュ大会の概要を説明し、広く参加と協力を呼びかけるとともに、必要な業務調整を行うため、主だった地域の県人会にキャラバン隊を派遣した。

■中南米キャラバン報告概要

1）日程（団員4人）

1995年2月3日(金)～2月18日(土)(14泊16日)

2）訪問国

中南米5カ国（メキシコ、ペルー、ボリビア、ブラジル、アルゼンチン）

3）キャラバン業務内容

（1）業務調整

県人会役員及び民間大使に対して、大会及びイベント概要について説明し、大会への参加・協力を呼び掛けるとともに、大会の運営及び各イベントに対する意見を聞き、必要な業務調整を行った。

（2）一般説明会

一般県人を対象に大会及びイベント概要を説明し、大会への参加・協力を呼び掛けた。

会次第

① 団長挨拶及び知事メッセージ朗読
② 大会プロモーションビデオ上映(10分)
③ 大会概要説明
④ イベント概要説明
⑤ その他＆質疑応答

参加者

5カ国7カ所で説明会を開催し、説明会への参加者は概ね次のとおりであった。

① メキシコ ……30人
② ペルー ……100人
③ ボリビア(コロニア・オキナワ) ……50人
④ 〃（サンタクルス市）……50人
⑤ ブラジル（サンパウロ市）……100人
⑥ 〃（カンポグランデ市）……50人
⑦ アルゼンチン ……60人
計　440人

（3）現地日系プレス訪問及び大使館等関係機関訪問

① ペルー……ペルー日系人協会、在リマ日本国総領事館、ペルー駐箚日本大使館、国際協力事業団ペルー事務所、ラウニオン運動場協会、プレンサ・ニッケイ、ペルー新報
② ボリビア……コロニア沖縄農牧総合協同組合、CAICO・NEWS、サンタクルス州政府
③ ブラジル……日伯毎日新聞、サンパウロ新聞、ジャーナル・パウリスタ、ブラジル沖縄文化センター、南マットグロッソ州議会、日伯文化体育協会
④ アルゼンチン… らぷらた報知社

4）持参広報ツール

① 大会企画書
② リーフレット
③ ポスター
④ ウチナーンチュ大会ニュース
⑤ 大会プロモーションビデオ
⑥ その他（沖縄観光パンフ、沖縄観光案内ビデオ）

5）参加者からの主な要望・質問等

①ネイティブも参加させたい。②ジュニアサミットの枠を拡大して欲しい。③バスの無料乗車の継続を。④市町村との交流をしたい(大会開催期間を避けて)。⑤バザールの関税の免除。⑥ビザ発給の優遇。⑦その他

■東南アジア・アソシエーション調査及びキャラバン報告概要

1）日程（団員3人）

1995年3月3日(金)～3月16日(木)13泊14日

2）訪問国

東南アジア6ヵ国（フィリピン，シンガポール，インドネシア，マレーシア，タイ，台湾）及びグアム

3）調査及びキャラバン業務内容

(1)調査内容

東南アジア地域におけるアソシエーション（県系人及びネイティブにより組織される沖縄協会）設立のため、各国関係者との調整及び将来にアジアの外の主要国及びグアムを加えた諸国間で民間大使、県人会、アソシエーションを網羅したネットワークの実現可能性の調査を行った。

(2)第2回世界のウチナーンチュ大会キャラバン説明会

訪問国県人会幹部及びアソシエーション関係者への大会内容の説明

・大会概要の説明
・各イベント説明
・アソシエーションと大会の関連について
・その他、質疑応答

4）調査結果及びキャラバンにおける質問等

(1)調査結果

シンガポール：組織を作り、多くの人を知ることによりビジネスを含めた相互利益の可能性ができるので、県人会等の組織作りを始める。現在、「星琉会」として活動中。

インドネシア：県人会としての団体は94年に結成済である。今後、規定等の書類上の整備及び県との交流においての県人会役割について実務的な話し合いを行う必要がある。現在、「沖縄ジャカルタ会」として活動中。

マレーシア：県の民間大使を中心としてアソシエーション設立を目指すとともに、OICの修了生及び県費留学生等のネイティブへの参加も呼びかけ、幅ひろい形での組織作りを始める。現在、「マレーシア沖縄会」として活動中。

(2)第2回世界のウチナーンチュ大会に対する質問等

・宿泊所の手配等可能か。
・ビザ修得のため、県の協力をお願いしたい。
・バザールを含めた大会へのネイティブの参加は可能か。

■北米キャラバン報告概要

1）日程（団員4人）

1995年3月11日(土)～3月26日(日)(14泊16日)

2）訪問国

北米8地域（ロスアンジェルス、シアトル、トロント、ニューヨーク、ワシントンD．C、ジョージア・アトランタ、サンフランシスコ、ハワイ）

3）キャラバン業務内容

南米キャラバンと同様、2カ国8カ所で説明会を開催し、参加者は概ね次のとおりであった。

① ロスアンジェルス……50人
② シアトル……70人
③ トロント（カナダ）……60人
④ ニューヨーク……50人
⑤ ワシントンD．C……40人
⑥ アトランタ……50人
⑦ サンフランシスコ……50人
⑧ ハワイ……70人
計440人

（3）現地日系プレス訪問及び大使館等関係機関訪問

①ロスアンジェルス…羅府新報
②トロント……日加タイムス、ニューカナディアン新聞、在トロント日本国総領事館、トロント日系文化会館
③サンフランシスコ…北米毎日新聞、日米時事新聞
④ハワイ……ハワイ州知事、同副知事、ハワイ州議会（上院、下院）ハワイ・パシフィッ

クプレス、ハワイヘラルド
(日米ジャーナル)、ハワイ
報知社、ラジオＫＺＯＯ、
ラジオＫＮＤＩ

4）質疑事項

①ジュニアサミット……11月の学校期間中、子ども達のスムーズな参加を促すために県知事からの推薦書や協力依頼文、又は「研修の一環である」旨の公文書を出してもらえたらとの意見が各地であった。

②ワールド・ウチナーンチュフォーラム……近年、活動が目覚ましい海外県人会の「会長会議」を企画してはどうか、との意見が出された。

③海外からの参加に関しては円高の影響で、少しでもやすい宿泊施設のリストを県下の観光協会から提供してもらえないか。また県の共済施設等の優先的宿泊の確保や、ホームステイ等の企画はどうか等の意見が出された。

■国内キャラバン報告概要

1）日　程

２月～８月　　（団員各２人）

2）訪問地

札幌、名古屋、福岡、東京、大阪

3）国内県人会の主な意見・提言

①この機会に沖縄をどう考えているか、海外からの意見をもっと聞くべきだ。

②一般参加者も各イベントに参加できるようにしてほしい。

③国内県人会の具体的役割を示してほしい。

④国内県人会同士の話し合いの場を設けてほしい。

知事メッセージ

「第２回世界のウチナーンチュ大会」海外キャラバンを、ここ○○○で開催するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

また、沖縄県人会の皆様には、ますますご健勝でご活躍されていますことに対しまして、お喜び申し上げます。

さて、沖縄県においては平成２年８月に祖国復帰20周年記念事業の一環として、世界各国に在住するウチナーンチュとその関係者の世界的なネットワークを構築し、相互の文化や経済の交流等を通して我が国の南における国際交流拠点の形成を図るため世界のウチナーンチュ大会を開催し、内外の多くの方々から喜ばれたころであります。

当該大会では、「ウチナーンチュ民間大使制度」を発足させるなど、本県と世界各地で活躍するウチナーンチュ及び県人会、関係組織等との一層のネットワーク化が促進されてきたところであります。ご承知のとおり、今年は、太平洋戦争・沖縄戦終結50周年の節目に当たることから、県ではその記念事業の一環として、世界各地に在住するウチナーンチュや、県人会、民間大使、留学生及び本県と縁のある人々との交流を一層強力かつ効果的に進展させるため第２回世界のウチナーンチュ大会を開催することに致しました。当大会では、第１回大会の成果をふまえ、国際ネットワークを更に拡大、発展させ、産業、経済、文化、学術等あらゆる分野での国際交流事業を展開し、本県の南における国際交流の拠点形成を一層促進させるとともに、関係各国の発展にも大きく寄与していく所存でございます。

どうぞ「第２回世界のウチナーンチュ大会」に○○を始め、世界各国で活躍している沖縄県系人が故郷沖縄の地に集い、お互いの交流の絆をより一層深められるようお願い申しあげる次第でございます。最後に貴県人会の限りないご発展を祈念申し上げごあいさつといたします。

平成７年○月○日
第２回世界のウチナーンチュ大会
実行委員会　会　長
沖縄県知事　大　田　昌　秀

6. 世界のウチナーンチュ大会ニュース

大会事務局は、海外在住のウチナーンチュへのPRおよび海外と沖縄を結ぶコミュニケーションのためタブロイド判8ページのPR紙「世界のウチナーンチュ大会ニュース」を4回（95年1月、4月、8月、10月）を発行した**＝グラビアページ参照＝**。

大会の準備状況、大会に関するビジネス情報、文化情報、大会事務局に寄せられた提案、意見など海外のウチナーンチュが必要と思われるいろいろな情報を盛り込み、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の4ヵ国語で記した。発行部数は、毎回10,000部で各国県人会、ウチナーンチュ民間大使を通して「ウチナーンチュ大会」を世界へアピールした。

7. 事前キャンペーン「大会まであと100日」

開催日　1995年8月8日　午後5時30分
～午後6時30分
場　所　パレットくもじ前広場（那覇市）

第2回世界のウチナーンチュ大会の開幕まで残すところ100日になった8月8日、開幕まであと「100日街頭キャンペーン」が那覇市のパレットくもじ前広場で開かれた。

大会の横断幕やのぼりのはためく会場ではミス沖縄と大会関係者が大会シンボルマークの入った風船1000個をはじめ大会リーフレット等を配布し、大会への参加、協力を呼びかけた。

キャンペーンでは、大田昌秀沖縄県知事（吉元政矩沖縄県副知事代読）が「万国津梁の民としての自覚と認識を新たにし、世界の平和に貢献するうえでも大きな意義があると考える」とあいさつした。

この後、小禄高校吹奏楽部が大会のテーマソングである「片手に三線を」を演奏、さらに同部員による創作ダンスも披露された。

8. 大会を成功させる夕べ

開催日　1995年10月17日　午後5時00分
～午後7時00分
場　所　かりゆしアーバンリゾート那覇
（那覇市前島）

「第2回世界のウチナーンチュ大会」を1か月後に控えた10月17日、那覇市前島のかりゆしアーバンリゾート那覇で「大会を成功させる夕べ」が開催された。「成功させる夕べ」には東門美津子沖縄県副知事、宮平洋沖縄県出納長ら県幹部、県内市町村長、大会事務局、協賛企業などの関係者300人余が参加。

主催者を代表して大田昌秀沖縄県知事（東門副知事代読）が「世界に広がるウチナーンチュの国際ネットを拡大、発展させ将来の沖縄づくりに寄せる夢を語り合う機会として極めて意義ある大会。全県民の参加で大会を成功させよう」と激励、協力を呼びかけた。

次いで又吉辰雄沖縄県知事公室長が経過報告、玉城一夫沖縄総合事務局局長が来賓あいさつ、嶺井政治沖縄電力（株）会長の力づよい乾杯の音頭で、大会の成功を誓い合った。

9. 大会直前チラシ配布

開催日　1995年11月13日　午後5時30分～
午後6時30分
場　所　パレットくもじ前広場（那覇市）

「第2回世界のウチナーンチュ大会」まであと3日を残す11月13日、大会への県民のムードを盛り上げるため、那覇市のパレットくもじ前広場で買い物客などに1000枚のチラシを配り、「第2回世界のウチナーンチュ大会」をＰＲした。

チラシ配布には、東門美津子沖縄県副知事、又吉辰雄沖縄県知事公室長らが大会ユニフォームの真紅のブレザー姿で先頭に立ち、ミス沖縄（3人）、大会実行委員会事務局員、沖縄県国際交流課職員などおよそ20人が大会の合言葉になっている「まっちょ～たんどぉ」と大会スケジュールの書かれたチラシを配って県民への協力を呼びかけた。

IV 招待関係

1. 大会参加者

今大会には前回大会の2,397人を約1,000人うわまわる3,409人が海外から参加した。地域別の傾向としては、南米からの参加者が100人程の増加にとどまったのに対し、米国、カナダなどの北米およびアジア地域からの参加者はそれぞれ前回の2倍以上に増えた。逆にヨーロッパからの参加者は前回の半数に止まった。また、今回は国内から513人が正式参加し、最終的な参加者総数は3,922人となった。

■1. 大会参加者内訳

地域別	国別	所属別	前回参加者	第2回参加者
南米	ブラジル	在伯沖縄県人会	788	715
	ブラジル	在伯沖縄県人会カンポグランデ支部		
	アルゼンチン	在亜沖縄県人会	159	196
	ボリビア	ボリビア沖縄県人会	92	60
	ペルー	ペルー沖縄県人会	471	692
7	ベネズエラ	ベネズエラ沖縄県人会	1	2
	メキシコ	メキシコ沖縄県人会	12	28
	パナマ	パナマ	0	1
合計			1,523	1,694
北米	米国	ニューヨーク沖縄県人会	18	48
		ワシントンD.C 沖縄県人会	21	39
		シカゴ沖縄県人会	15	27
		ジョージア・アトランタ沖縄県人会	17	89
		北米沖縄県人会	175	256
		北加沖縄県人会	35	117
		サンディエゴ沖縄県人会	13	16
		サクラメント沖縄県人会	19	39
		ワシントン沖縄県人会	16	17
		ハワイ沖縄県人連合会	386	727
		ノースカロライナ沖縄県人会	1	75
		ユタ州沖縄県人会		51
		アラスカ沖縄県人会	10	10
		オハイオ	1	0
		バージニア	1	0
		フロリダ	1	3
		サウスカロライナ	1	0
		カンサス	1	0
		テキサス		6
		ニュージャージー		2
		ペンシルバニア		1
		オクラホマ		1
		グアム沖縄県人会	34	36
		サイパン沖縄県人会	3	10
		その他		10
	小計		768	1,580
	カナダ	カナダ沖縄県人連合会	8	15
		球陽会	12	11
2		レスブリッヂ沖縄県人会	9	5
		カルガリー沖縄県人会	2	3
	小計		31	34
合計				1,614
アジア	フィリピン	フィリピン沖縄県人会	31	37
	香港	香港沖縄県人会	8	17
	タイ	タイ沖縄県人会		8
	台湾	台湾沖縄県人会	1	6
	マレーシア	マレーシア沖縄協会		4
7国	インドネシア	ジャカルタ沖縄会		2
2ヶ所	シンガポール	星琉会		3
	中国	福州市		5
	ベトナム	ベトナム県人会		1
合計			40	83
ヨーロッパ	フランス	フランス沖縄県人会	7	3
	イギリス	イギリス沖縄県人会	1	4
	イタリア	イタリア	1	1
	スペイン	スペイン沖縄県人会	11	0
		ラスパルマス沖縄会		1
		カナリア諸島	3	0
	スウェーデン	スウェーデン沖縄県人会ウチナーンチュ会	1	1
7	ドイツ	ドイツ沖縄県人会	1	2
	スイス	スイス沖縄県人会	1	1
合計			26	13
アフリカ	ザンビア	ザンビア沖縄県人会	2	3
	計		2	3
オセアニア	オーストラリア	オーストラリア		2
	計			2
その他	その他		7	
	計		7	
海外合計			2,397	3,409
国内	国内（本土）	国内		184
	県内	県内		329
国内合計				513
総計			2,397	3,922

■2．海外県人参加者リスト

ブラジル

アカシオ　セルクエラ　ネト
安谷屋　マルガリタ
安谷屋　俊　吉
安富祖　幸　栄
安富祖　　元
安富祖　ギンジョ　パウロ
安慶名　一　雄
安慶名　シ　ズ
安慶名　明　子
安慶名　　亮
安慶名　キ　ミ
赤　嶺　エイソウ
赤　嶺　セイショウ
赤　嶺　太　郎
赤　嶺　千　代
赤　嶺　賢　次
赤　嶺　フェリッピ
赤　嶺　利恵子
赤　嶺　アリセ節子
赤　嶺　亀　造
赤　嶺　春　子
赤　嶺　マルシア　ヒロミ
赤　嶺　アビリオ　セイキチ
赤　嶺　清　子
赤　嶺　尚　由
赤　嶺　富　吉
赤　嶺　清　助
マリア　カルノ　アレキサンドレ
アルフレド　スウゼル
マリア　エミーリア　スウゼル
シップリーナ　アマード
アマザント　サントス
リセ　シクイリア　アンドラデ
新　垣　秀次郎
新　垣　ト　ミ
新　垣　米　子
新　垣　宏　吉
新　垣　マサ子
新　垣　貞　郎
新　垣　エミ子
新　垣　幸　吉
新　垣　フミコ
新　垣　源　栄
新　垣　エジソン
新　垣　ルイス
新　垣　ツル子
新　垣　トミ子
アルツァ　ネト
安　里　トミ子
安　里　辰　男
安　里　永　光
安　里　美智子
安　里　サオコ
テレサ　クリスティーナ
　　セルクウェイラ
知　花　良　治
知　花　千恵子
知　花　真　勲
知　念　　明
知　念　ふみ子
知　念　ヨシコ
知　念　ユゼン
知　念　ハツコ
知　念　キミエ
マリーア　クリスティー
シプリナ　シルビア　モウラ
クレバー　バッソ
クロドラド　パウラ
キプリナ　シルヴァ　クラ
ドウハ　カルメン
EDUARDO AMARAL
エリスベルト　ピレス
榮野川　ミヨコ
江　洲　節　子
藤　岡　パウロ
藤　原　ミ　エ
福　地　フリオ　俊之
普天馬　義　信
我如古　カマド
呉　屋　徳　幸
呉　屋　ヒロユキ
呉　屋　美智子
呉　屋　キチジン
具志堅　賀乙留
具志堅　仁　一
具志堅　勤　栄
具志堅　　文
具志堅　光　子
具志堅　末　子
具志堅　古　吉
具志堅　チエコ
具志堅　　弘
具志堅　サエコ
浜比嘉　宗　廣
浜比嘉　ノブ子
花　城　クラウジオ
花　城　清　賢　ジョールジ
花　城　淑　子
波田間　正　順
波田間　千　代
ヘバート　シルトン
平安名　常　義
平安名　常　謹
平安名　スミ子
平安名　よし子
辺土名　文　子
辺土名　朝　英
平　識　玄　階
比　嘉　増　茂
比　嘉　カズコ
比　嘉　新　昌
比　嘉　ヨシ子
比　嘉　昭　和
比　嘉　キヨ子
比　嘉　タ　エ
比　嘉　フ　チ
比　嘉　　茂
比　嘉　静　子
比　嘉　正　栄
比　嘉　ト　シ
比　嘉　ラファエウ
比　嘉　ツネ子
比　嘉　実　美
比　嘉　アナ　マリア
比　嘉　憲　英
比　嘉　ミヨコ
比　嘉　ウ　シ
比　嘉　ヒデオ
比　嘉　ヨネコ
比　嘉　勝　夫
比　嘉　モニカ　クニコ
平　林　六合子
平　田　　覚
平　田　神　谷　光　子
外　間　マリオ
外　間　初　枝
外　間　節　子
外　間　イレーネ
外　間　秀　夫
外　間　ルベンス
外　間　アドリアナ
伊　江　朝　彦
伊　福　恵利加
伊　芸　ユートク
伊　芸　ハジメ
伊　芸　　博　ジョマン
イゲ　ジョアン　ヒロシ
伊　波　正　春
伊　波　良　子
伊　波　正　哲
伊　波　正　智
池　原　盛　光
池　原　信　子
池　原　信　栄
稲　福　　格
稲　福　初　江
稲　福　トミ子
稲　嶺　八重子
稲　嶺　山　城　サ　チ
伊良波　光　子
伊良波　チョブン
伊良波　朝　勇
伊良波　チョジン
伊差川　　実
伊差川　初　枝
糸　数　ハ　ナ
糸　洲　ツ　ル
岩　佐　パウロ
伊豆味　　文
伊豆味　アリセ
伊豆味　ハルコ
ジャゴベルト　ピレス
謝　花　千代子
嘉　数　ハ　ル
嘉　数　キ　ミ
嘉　数　政　徳
神　谷　徳　次
神　谷　和　子
神　谷　牛太郎
神　谷　ラウラ　ヒロミ

神谷龍次
神谷明美
神谷龍美
神谷マリーナ・ミサコ
神谷栄吉
神谷静子
神谷清一
神谷ブランカ
神谷清次
神谷清
神谷シゲ
金城ミツエ
金城イクツギ
金城イクタロウ
金城ハニコ
金城アンナ
金城賀常
金城ヨシエ
勝連山戸
勝連春子
川端カミ
川上卓蔵
川上テルコ
川上ユキコ
川上枝美子
川上静江
川上スエ
川上ケイ子
川上徳信
カヨー ソーブン
カヨー ブラシリーナ
嘉陽ウシ
嘉陽宗信
嘉陽吉川エツコ
嘉陽マリア
嘉陽ヨシ
嘉陽相備
嘉陽八重
嘉陽宗福
嘉陽松田サチコ
木元弘子
喜納マリヤ
喜納ヨネ
喜納ネルソン
喜納新垣光子
金城友子
金城フジコ
金城ミツエ

金城郁次
金城アキノ
金城エレーナ
金城常松
金城常行
金城ルイザ
金城ヨシ
金城正
金城ハル
金城喜久
金城トモ
金城節子
喜友名朝光
喜友名揮子
喜友名朝勇
喜友名フミ
小橋川ジュンコ
小橋川ミサコ
古我知ゆり子
古我知初雄
小浜守栄
小波津房子
小波津清純
小波津春子
小波津サチコ
米洲清保
米須清亀
米須セイコ
河野綾乃
久場良繁
久場マリア シズエ
久保玉栄仁正
久保田喜美子
久田光子
国吉次郎
国吉ミサオ
国吉信三
国吉サカイ
喜友名フミ
喜友名朝幸
前田チヨ
前田朝栄
前田光武
前田妙子
前川パウロ ロイチ
眞栄城芳子
マリア スルゼル
松田アントニオ

松田トシコ
松茂良興文
松茂良達子
松茂良アメリア
ミルトン アルベス デ ジェーシス
宮平イザウラ ヨネコ
宮城マカ
宮城スミ
宮城シゲヒト
宮城ヨネ
宮城栄揮
宮城ハツ
宮城サンドロ
宮城タマ
宮城調栄
宮城節子
宮城賢清
宮城節子
宮城オタリノ・ヨシヒデ
宮城滋
宮城義隆
宮城ミヨ子
宮城レジナ・ミキコ
宮城秀詞
宮城シズコ
宮城マツシゲ
宮城アメリア
宮城浩枝
宮城真
宮城チョチ
宮城真正
宮城トキコ
宮城ミドリ
宮城治枝
宮城ヨシヒデ
宮平ネルソン
宮平イザウラ
宮平初子
宮平ハル
森田キク
諸見里文子
長浜トシ子
長浜光盛
長浜マルコス
長浜ファビオ
長浜ペドロ
長浜ジョゼ
長嶺明広

長嶺トミ
長嶺栄正
長嶺明徹
長嶺弘子
長嶺セイジ
長嶺フラヴィア
長田輝子
ナイル マリア スサエデル
仲田芳憲
仲栄真ツル
仲川実留
仲川幸雄
仲島パウロ
仲島照子
仲間春子
仲間マモル
仲眞次栄徳
仲眞次ルイザ
仲増ヒデ
仲松弥光
仲松スミエ
仲松貞雄
仲松エリーザ
仲本順一
仲本ラウド
仲本裕
仲村昭治
仲村クリスチーニ ジゼレ
仲村ローザ
仲村渠保彦
仲村渠美佐子
仲村渠ヨシ
仲村渠幸代
仲村渠レイ子
仲村渠ツネオ
仲村渠タケヨ
仲村渠コーキ
仲野トミ
仲里ゼンディオ
仲里セツコ
仲宗根いね子
仲宗根清正
仲宗根セイケン
仲宗根アルリンド
仲宗根セイホ
仲宗根ヤスノリ
仲宗根アリセ フサコ
仲宗根清

仲座清一郎
仲座正栄
仲里全良
仲里全徳
仲里マリオ
仲里サチコ
仲里アセリノ
名幸仁　亀
名幸仁　正
名幸仁　トシ子
成田イチロウ
ネルソン　ライムド
根路銘米子
西銘光男
野原栄喜
野原　進
野原トミ
野原秀子
野原兼式
野原光子
野原進栄
野原秀子
野原美代
小渡静子
大野ミヨ
岡本タデオ
奥浜和江
奥間正春
奥本ツル
奥本ファチマ
奥本カメ
大嶺ハツエ
大嶺シゲイサ
大嶺キコ
翁長みどり
大城トシ子
大城　清
大城イサウラ
大城テレーザ
大城善栄
大城善孝
大城盛造
大城ウシ
大城美智子
大城長次
大城　均
大城貞夫
大城　進
大城キヌ
大城竹友
大城末子
大田信雄
小沢ヘンリ
大島美枝子　マリナ
大城政吉
大城常子
大城ノボル
大城アヤコ
大城ナガトシ
大城アデリア
大城清勝
大城ゼンヂ
大城花江
大城ヨシ
大城美枝　マリア
大城チオシン
大城アリセ
大城シデネイ
大城ホセ　セイジ
大城ローザ
大城セイキ
大城ハルコ
大城カレン　チアキ
大城盛昌
大城ミツ子
大田徳助
親富祖マサト
親富祖金城ケイコ
親富祖イサガワ和子
親富祖金城チヨコ
親富祖シゲゾウ
親富祖シゲオ
親川世松
親川吉子
親川アケミ
パウロコスタ
坂本ジュリオ
崎浜ヨシコ
崎浜ヨシ
崎原カマタ
佐久川ハツ子
佐久川ハルコ
佐野パウロ
佐野ノエミア
佐野スマラ
佐藤ジュジッチ
佐藤フオイテ
シャエデレル　ナイル　マリア
勢里客ミツノブ
勢里客ミツトシ
瀬底正俊
瀬底ヨネ子
島袋ミドリ
島袋善寛
島袋レイコ
島袋義富
島袋美代子
島袋ノブ子
島袋マサ子
島袋ユウコウ
島袋サチコ
島袋順子
島袋ハツエ
島袋スエリー
島袋浩一
島袋マツ
島袋イジドーマ
島袋ヨシコ
島袋シズ
島袋カマド
島袋亀十
島袋シゲ
島袋キヨ
島袋リンダ
島袋アリセ
島袋ホセ
島袋イジドーロ　キミオ
島袋ヨリコ
島袋ホミネ
島袋ヨシミ
島袋ハルミツ
島袋平良勇也
島田房文
島田信子
島田為良
島田フサヨシ
新城トミ子
新城安誠
新城　文
新城盛成
新城一夫
新城宮里正子
新里善市
新里清子
新里信子
新里ケイ子
新里志子
志良堂　ニウトン　キヨシ
志良堂　川平　ヴェラルシア
城間　茂　ヴァルジ
城間三郎
城間政光
城間スミ子
城間　光
城間　章
城間清敏
城間アルベルト
城間カズエ
城間ヨシ
城間セイタカ
城間マリウザ
城間ハツエ
シロタ　イチロ
城田アンジェラ
島田ヒロミ　ミレネ
祖慶　薫
ソウザ　ルイス
杉田トミコ
スウゼル　ジェズス
鈴木マウリシオ
田場ジョルヂ
田場サチ子
平良テレーザ
平良ミルトン
平良ネリイ
平良光清
平良チエ子
平良重美
平良　慎
平良米子
平良玉茂
平良マチウデ
平良テツオ
平良シゲオ
平良ノブコ
平良キヨコ
平良マチルダ　ミドリ
髙松　イサガワ　弘子
髙良正弘
髙良テレザ
髙良キヨ
髙良清徳

高良光子
高良ヒロアキ
高良タケ
高良和子
高良マサ子
高良亀吉
高安宏芳
高安光
大工廻朝樽
玉栄セツコ
玉城淳厚
玉城秀雄
玉城吉子
玉城信代
玉城サクエ
玉城トミ
玉元和子
玉元ソーニア
玉城あけ子
玉城オデテ スエコ
玉里サクエ
棚原伝栄
田里ナヘ
天願信行
天願タツ
天願貞雄
天願トヨ子
照屋弘
照屋シゲ
照屋トミ
照屋喜助
照屋ミチ子
照屋ローザ
照屋マーリオ
照屋ラウロ ノリヨシ
照屋清栄
照屋はる
照屋カルロス
照屋セシリア
照屋キヨシ
照屋マリーオ セイコ
照屋ホセ
照屋マサコ
照屋セイゼン
照屋高良ケイ子
照屋昇
渡久地パウロ
渡久地フローラ
渡慶次光雄
富山安徳
富山和子
當間文子
當間カリーナ
當間テルサ
當直ヨシ
津嘉山朝信
津嘉山明美
津嘉山実
津波マルチーニョ
津波米子
津嘉山英
津嘉山サユリ
上地勇仁
上地シゲ
上地チヨ
上地千恵子
上地マリ子
上地シゲヨシ
上地ミツエ
上地赤嶺ユリ子
上原エリーザ
上原幸啓
上原実
上原初子
上原トキ子
上原セイイチ
上原チエ
上原武夫
上原マサコ
上原ジュリオ
上原マリ子
上原ジョン
上原セイキチ
上原ツルコ
上原マノエル
上原正太郎
上原松子
上原ミヨ
上原アケオ
上原マサシゲ
上原ハタダ マリ子
上間トシ
上間ヨシ子
上間ジャイメ
上間エジソン
上間ジェーソン
上江洲一雄
上江洲悦子
上江洲ナエコ
浦崎直秀
浦崎アキラ
浦添清
浦添キク
ウシダ ヨシコ
和宇慶朝六
屋比久敏子
屋比久ハツコ
山田義秀
山田春枝
山田義宗
山田ミツエ
山田アントニオ
山口エイショウ
山口シズコ
山口トシ子
山城勇
山城芳政
山城良行
山城千枝子
山城八重子
ヤマシロ コウエイ
山城宮城マリア
山城清栄
山内賢一
ヤストミ エレナ
与儀みさよ
与儀ハツタロ
与儀キクエ
与儀ヒロ子 マリア
与儀明夫
与那覇静子
与那覇千代
与那嶺真次
与那嶺ハル
与那嶺トシオ
与那嶺リンダルヴァ
与那嶺チエミ
与那嶺セルジオ
与那嶺米子
与那嶺ジンコウ
与那嶺フミコ
与那嶺ミツ子
与那嶺和代
与那嶺エレナ
与那嶺シンロク
義田善栄
義田ツネ
嘉陽吉川エツコ
吉村安子
吉村ミリアン ハレミ
座波慶子
座嘉比昇
フェリペ ネウザ オカライル ナシベン

アルゼンチン

安慶名オルガ
新垣善太郎
新垣善市
新垣ハルコ
新垣初子
新垣八重子
新垣盛一
新垣恵子
安里菊江
安里エステラ アレハンドラ
安里すみ江
安里よし
栗森栄幸
栗森静子
バティスタ フイジェタ
ブリト ベセンテ
知念ルイス
知念佑憲
知念絹子
知念イザベル
エドナンド キシモト
栄門グスターボ
フェルナンデス名護ナリア
我謝正亀
我謝文子
我那覇隆八
我那覇アンヘル オラシオ
我那覇文子

儀武息松
宜野座ガブリエル
宜野座新三
ゴメス アルフォンシナ
呉屋宣光
呉屋盛尚
呉屋静子
呉屋マリナオ
畑中デリア
畑中エリサ
服部静江
比嘉アントニオ善雄
比嘉エクトル オラシオ
比嘉ロベルト
比嘉礼子
比嘉光雄
比嘉哲夫
比嘉ホセ
比嘉エレナ
比嘉エクトル
比嘉マルタ
比嘉徳吉
比嘉良秀
比嘉房子
外間カルロス
伊計盛信
伊計米子
伊計オルガ
伊計恵子
伊盛セバスチャン アンドレス
伊盛エルナン クラウディオ
伊盛秀一
稲福ダニエル
稲福モニカ ガブリエラ
稲嶺ダニエル
伊良波幸雄
伊佐真吉
伊佐定子
石川ジュリア
糸数良喜
喜納義彦
金城仲安

金城デリア
金城ヒデ
木島アレハンドロ
岸本忠夫
キシモト マーサ
喜友名エリカ
喜友名朝幸
久場兼照
真喜志オスカル
真喜志スサーナ
又吉正之
又吉エルネスト
松堂克
松堂春美
松堂リカルド昭
松堂まゆみ
松本ユミコ
新門シルビア
宮城トミ
宮城エルネスト
宮城ユリ子
宮城カオル
水谷ナタリア
水谷ナタリ
名護敬一
名護ノルマ
中見川エリサ
仲村実好
仲村渠清子
仲村渠真史
仲村渠ロベルト
仲宗根マリア
仲宗根マリオ
仲宗根ヨシ子
仲宗根グスタボ
名城フミ
名城美代子
名城フリオ
根路銘フェルナンド
小川れい子
翁長清子
大城秀光

大城徹三
大城フェリサ
大城クラウディア ノエミ
親泊イサベル
親川幸子
栄口アルベルト
栄口ハル子
崎原朝一
佐藤勲
佐藤マルガリータ
佐藤愛
勢礼千代子
志伊良ロベルト
志伊良マリア エレナ
志伊良タデオ
志伊良サブリナ
志伊良正子
島袋正子
島袋リカルド アンドレス
島袋マルティン
島袋重雄
新門美智
新門トミ
新門定雄
新門リカルド
新門シルビア
新里孝徳
新里真一
城間エセキエル
城間精保
城間フサ子
鈴木てい子
平良晃
平良秀子
平良エンリコ
髙江洲勝子
髙倉ラウロ
髙山テレサ
玉城アントネッタ
玉城みえ子
玉那覇義明
玉那覇クリスチャン

玉那覇ロミーナ
玉那覇オラシオ
玉那覇盛徳
玉那覇リディア
玉城昌一
玉城アドリアン
俵豊一
照屋信夫
渡久地政徳
渡嘉敷マリア
徳盛レアンドロ マリオ
トーナトレ グラシエラ
当山カルロス
内間広勝
内間キヨ子
上原ベロニカ
上原豊子
上原ルベン
上間ラウラ ミリアン
上江洲なつよ
内間ヒロカツ
屋富祖マキシミリアノ
山本美佐子
山城洋子
山城剛男
山里将祐
安田パブロ アリエル
安田栄一
饒平名朝美
与那嶺ジャン
与那城カレン
与座宏章
与座孝子
与座謙一
与座あゆみ
与座正章
座喜味盛一
瑞慶覧長一
瑞慶覧広子
瑞慶覧朝一
瑞慶覧弘子
勢礼千代子

ボリビア

安仁屋進
アバリシオ ファン
新垣真永
新垣和子

安里静子
安里嗣幸
アデーマル カマーチョ
古木英次

義部ハビエル
具志堅興貞
具志堅春子
比嘉敬光

比嘉節子
池原正次
池原トミ
池宮秀孝

池宮貞子
池宮朝美
神谷　健
神谷房康
金城るみ子
喜瀬普二男
岸本しのぶ
岸本エグアルド
岸本ミルサ
古我地　清
久場シゲ子
久高美津子
久高将司
町田ヨイチ
宮里艶子
中村留理子
仲村信子
野里栄順
翁長真智子
翁長ベロニカ
翁長タティアナ
翁長チヨ
酒井平八郎
酒井トヨ
島袋金丈
島袋カルメラ
島袋エリカ
島袋　健
平良賢次
平良シルビア　モニカ
平良ナンシー　ベロニカ
高里カメ
富田　厚
友利金三郎
友利美代
友利ルーシオ
友利アーナ
当山ハツ
津嘉山平雄
津嘉山フミ
ビクトール　ペラルタ
山城保徳
山城興喜
山内　勇

ペルー

安谷屋比嘉ロバート
アドバン　ジセラ
安富祖　フリア
東江　テルオ
東江ナンシー　イズミ
アガリジョ　ベラ　アルマンドー
安慶名　マルガリータ
アイダ　アマノ　アングロ　ミエコ
アジト　マリア
赤嶺　マルタ
赤嶺全重郎
赤嶺静子
赤嶺アナ
赤嶺マリオ
赤嶺光弘
赤嶺貴子
天野名幸　ヒルダー
アマヤ　オスカル
アナニヤ　ロバート
新垣ユキ
新垣ヨシ
新垣ミチコ
新垣シンハチロ
新垣ヒデコ
新垣アキラ
新垣マニュエル
新垣ロベルト
新垣マルガリタ
新垣アンジェリカ
新垣ローザ
新垣美代子
新垣　実
新垣米子
新垣マルセラ
新垣新垣ホセ
新垣フリオ
新垣新垣セイキ
新垣新垣カルロス
新垣藤本オマル　アルベルト
新垣比嘉ジュリア
新川ユキ
新川嘉手刈　ジョージ
荒木タケシ
荒木吉田オスカー
新崎オマー
アラシロ　仲松　ローザ
アラヤ　カワノ　オスカー
安里ロクサーナ
安里昌一
安里セナイダ
安里大城ネリー
安里大城ネルー
安座間　ジュアナ
安座間　シェイラー
バルタ　松坂ニナ
バスデラマ　ドロレス
ブランカ　デ　パストロ　ニルダ
ボンクン　ルイザ
カデロン　ジョージ
カニク　コヤ　ジェシカ
カルメン　ペルセズ　カルビオ
知念フランシスカ
知念ローザ　エレナ
知念カマ
知念エンリケ
知念マリサ
知念ビクトリア
知念エミリア
知念セツコ
知念ヒロシ
知念ミグエル
チネン　アントニオ
チネン　デニス
チネン　マサカズ
チネン　トシヒコ
知念金城カルロス
知念仲村渠　フアン
コントラス　カルロス
コントレラス　リリアン
コーヤ　シーザー
デ　イト　ビオレータ
デル　アギラ　ナタリー
デル　ポゾ　ルイス
エルゲラ　カルロス
エノヒ　ルミコ
ファキミ　タケオ
ファルファン　ワルテル
フェルナンデス　マリオ
フィリップ　チュク　ローザ
福原ファナ
普久原朝英
普久原アナ
普久原朝喜
普久原ヘルマン
普久原エミ子
普久原テレサ
普久原照子
フルシオ　ハツエ
フルシオ　モリナカ　ロレンゾ
ガラー　カタリナ
ガラー　マルチェロ
ガラー　ナンシー
我那覇ヘルマン
我那覇エレナ
我那覇巳代
我那覇トシコ
ガナハ　ビクトル
ガナハ　オルガ
ガナハ　ミヤコ
我如古ロイサ
我如古ジェシカ
ガシャ　レダ
儀保初江
儀保ミツオ
儀保ツルコ
儀部ローザ
儀間光善
ジセラ　アバント
ゴガサラ
呉我トヨコ
呉我パトリシア　リミコ
ゴイコチェア　マリア
ゴイコチェア　マルハ
呉屋セザー
呉屋敏子
呉屋ヒロシ
呉屋リカルド
呉屋ミゲル
呉屋　勇
グラシエラ　伊佐
儀保　実
具志堅　イサベル
具志堅　マサル
具志堅貞子
具志堅コウゼン
具志堅ビクトル
具志堅新垣ファナ
具志堅伊礼フリオ
具志堅幸喜ビクトル

城間 フリア
グティエレス 運天 リティア
ハベ ルシラ
ハマモト オスカル
花城 イリス
比嘉 マツジュ
比嘉 カズコ
比嘉 ネリー
比嘉 ローザ
比嘉 ミグエリナ
比嘉 リカード
比嘉 栄長
比嘉 リリアン
比嘉 アンドレス
比嘉 マルガリータ
比嘉 幸子
比嘉 ツル
比嘉 ツネオ
比嘉 シュウジャン
比嘉 マリサ
比嘉 ユキコ
比嘉 ビクトリア
比嘉 ルシア
比嘉 フェルナンド
比嘉 マニュエル
比嘉 フリア
比嘉 フアン
比嘉 比嘉 サンティアゴ
比嘉 カマド ルイス アルバート
比嘉 諸見里 ヒューゴ
東恩納 ルイサ
東恩納 シゲコ
樋口 ヒロシ
平川 マリア
平川 フアナ
平岡 ベガ ゲイビ
ヒロモト ヒロモト フィリップ
外間 ロランド
ホリカワ テレサ
フエムラ アンジェラ
伊芸 シゲル
伊芸 治夫
伊芸 信行
伊芸 和子
伊芸 銀勇
伊集 守徳
伊集 カタリナ
イケハラ サダヨシ
池宮城 オウガスト
稲福 サラ
稲福 モニカ
イナフク ホセ
イナフク アキラ
イナミ ビクトル
稲嶺 イネス
稲嶺 ローザ
稲嶺 セイゼン
稲嶺 エンリケ
稲嶺 セイジ
稲嶺 フルシオ カルメン
稲嶺 稲嶺 オーガスト
伊礼 英夫
伊礼 貞子
伊礼 伊礼 エミリオ
伊礼 マサノブ
伊礼 島袋 スザーナ マサコ
伊佐 マルガリータ
伊佐 ハツコ
伊佐 幸子
伊佐 静子
イシカワ サラ
イトウ シズコ
糸数 マルガリータ
伊是名 宮平 ビクトル
ハイメ デル アロウラ
ハイメ マヌエル デルア ギラ
カデカル ノブコ
嘉手苅 良信
嘉手苅 洋子
カデカル カルロス
嘉手苅 嘉手苅 カルロス
カメヤ 比嘉 カロリナ
カメヤ ナガミネ フリオ
神谷 尚子
金城 金城 シズコ
金城 タマ
金城 アルバート
金城 ジャン
金城 マルガリタ
金城 タカ
金城 エンリコ
金城 リジー
金城 セイユ
金城 ローザ
金城 テツオ
カナシロ ルイス
カナシロ 森田 フアン
カネク バイオレット
カネク イブノン ルイス
兼城 ルイス
漢那 小橋川 マヌエル
カワゾ トクゾ ミグエル
亀甲 ミゲル
喜納 ロール
金城 ユリ子
金城 エイ
金城 ナンシ
金城 光太郎
岸本 ルイス
喜屋武 アキコ
喜屋武 フランシスカ
喜屋武 アルマンド
喜屋武 アナ マリア
喜屋武 テレサ
喜屋武 貞子
喜屋武 ダンテ
喜屋武 ネリー
キャン ダンテ
小橋川 フアン
小橋川 ソイラ
小橋川 エサベル
小橋川 繁子
小橋川 孝盛
小橋川 小橋川 ミグエル
小橋川 新里 ダニエル
幸地 努
小波津 浩
小波津 モニカ
小波津 アントニオ
小波津 喜美子
小波津 新川 コンスエロ ツキ
小島 銀一
コチ ホセ
コト アレサンドロ
幸地 長永
幸地 長文
幸地 エリサ
小渡 ジョニー
久場 良繁
久場 良喜
久場 フサコ
クダカ ベセラ ルイス
国頭 ジョージ
国頭 アイコ
国頭 アレハンドリナ
国頭 テレサ
国頭 フアン
国頭 セイボク
国頭 国頭 リカルド
国吉 大城 カタリナ
黒川 村上 フアン
クリマ ジャビエル
桑江 オウガスト
ライセッチ ゴンザレス マニュエラ
ライセッチ オマラー パブロ
フクシマ ダゴベルト
ロパズ ユリ
前平 クリスチーナ
マエヒラ トヨコ
前盛 トミ
真栄城 エンリケ
真栄城 レベッカ
マエゾノ アナ
マキカド ローザ
マスドーニ アーネスト
又吉 ダニエル
又吉 ドミンゴ
又吉 ルイス
又吉 マカト
又吉 ローザ
又吉 タケオ
又吉 ミツコ
又吉 スミコ
又吉 キミコ
又吉 ハル
又吉 フリオ
又吉 セユコ
又吉 オーガスト
マタヨシ サユリ
松田 マニュエル
松田 カミ
松田 ミツエ
松田 芳春
松田 杉江
松田 フリオ
松田 ネリー
松田 ミズモト リカルド
松田 仲宗根 フアン
マエシロ ロサ
メドラノ カルロス
メドラノ 渡久地 テレサ
宮平 タケ

南　スミコ
嶺井清栄
嶺井信子
ミランダ　チュエラ　ルイス
ミランダ　ネコチェア　ノーマ
ミッチェン　仲松　ローザ
光増恭子
宮城　ロサマリア
宮城盛喜
宮城　マルガリータ
宮城　エツコ
ミヤギ　ヒサコ
宮城　テレサ
宮城　ヒサコ
宮城　クリスチン
宮城　マヌエル
宮平　エルネスト
宮里　ヤスコ
宮里新垣　ペドロ
宮城　フアナ
宮城　カルメン
宮城　テライダ　チサト
モラレス　宮城　ベッティ
モレイラ　マリア
諸見里　フアナ　チヨコ
諸見里　安憲
諸見里　カロリナ
諸見里　フリオ
諸見里　ルシア
諸見里　グラディス　チエミ
諸見里　比嘉　ルイス　カルロス
諸見里　アンキ
諸見里　ツル
諸見里　安徳
諸見里　美枝子
諸見里　真義
諸見里　ヘレナ
ムラノア　クエラー　ルイス
ムラノア　ネチョシェード
村上　エクトル
長嶺　オスカル
長嶺　タエコ
長嶺　ルーシー
長田　恵美子
長田　康稔
名嘉　アグネ
仲田　マサヒロ
仲田　カズ子
仲田勝信
仲田　キヨシ
仲田　マリー
ナカダ　リース
仲田正篤
仲程善樽
仲程　フアン
仲程　ホセー
仲程通孝
ナカホド　トメ　ロサ
ナカホド　ナカオ　パトリシア
名嘉真　布一
名嘉真　アルベルト
仲松信子
仲松　カルメン
仲松森市
仲松　ミツコ
仲松屋良　アルフレド
仲嶺　オスカー
仲嶺　アナ
仲嶺比嘉　アウガスト
仲本　ヨシコ
仲本　アンジェリカ
ナカムラ　アントニオ
ナカムラカレ　フローレンス
ナカンダカリ　アントニオ
仲村渠　イザベル
中西　ガベディア　マニュエル
仲宗根　ワルター
仲宗根　フェルナンド
仲宗根　ロサ
仲宗根儀間　エンリコ
仲宗根沢岻　オルガ
仲宗根幸弘
ナカタハラ　リカルド
ナカタハラ　ルシラ
ナカヤ　タカヨシ
中谷新垣　アルベルト
仲座　ローザ
仲座金城　ジョアン
仲里　実
仲里スミ子
仲里　フリア
名幸清栄
名幸　ホルヘ
名幸　アレンジャンロ
名幸安里　アナ
登川　ホセ
野口　メリー
野村荒木　ギレロ
小渡　ジョニー
オガ伊藤　マニュエル
オガ　ロドリゲス　テオフィラ
小川敏子
奥間　エミリア
奥間　ローザ
奥間　ケンジ
奥間　アレンジャイロ
奥村　ノーマ
大城　サンティアゴ
大城　アナ
大城　カナ
大城　ビクトル
大城　ホルヘ
大城　イサベル
大城　ケンジ
大城　マスミ
大城　オウガスト
大城　アルフレッド
大城　シズ
大城　シンイチ
大城武彦
大城　ユカリ
大城　パトリシア
大城　スミエ
大城　トヨ子
大城光子
大城　キミ子
大城　テレサ　ヨネコ
大城徳田　アルベルト
大城山城　エンリコ
大城座喜味　フランシスカ
大田　アルフレッド
太田初子
大谷　タカシ
オタニ　カワウチ　ルイス
オタニ　オタニ　フアン
親川義一
パントハ　フアン
パストル　渡辺　アドルフォ
ペドロ　ルイス
ピロ　リゴベルト
キンタナ　アナ
ロドリゲス　クルース　ジョージ
ロメロ　パルマ　ノーマ
サカグチ　ルルビナ　イズミ
崎原　フェルナンド
崎原　リカルド
崎原　カルメン
崎原　カルロス
崎原　ホルヘ　アキラ
佐久田　アケミ
佐久田　ナンシー　マサミ
佐久田　キクコ
佐久田田崎　フアナ
佐久川　政義
佐久川　貞子
佐久川　フロリンダ
シゲヤマ　ビクトル
シゲヤマ　カルメン
識名　ヘルナン　セイジ
識名　アルフォンク　宗仁
シマ　コウシオ
島袋　ルイス
島袋　ドリス
島袋　セサル
島袋　ギレラモ
島袋　デラ
島袋　マリア
島袋澄子
シマブクロ　ピサル
シマブクロ　セリシア
島袋伊波　フアン
島袋石川　カルメン
島袋又吉　ゾイラ
島袋宮里　アレハンドロ
島袋　オスカー
シモヒラ　ノーマ
志村　トミ
志村　アケミ
新城　フアン
新城　パウラ
新城蒲吉
シンノ　フェルタ　ロベルト
新里　カルメン　ツルコ
城間　ナンシー
ソベロ　アンドレス
ストルプラ　パトリシア
末吉　フリア
末吉　ハリコ
菅野遠藤　ホセ
菅野　フェルタ　ロベルト
菅野平良　ギレーモ
スガシマ　ホセ　ノベルト

鈴木東江フリア
鈴木東江メラニー
田場ホルヘルイス
田場ピラル
田場ミラグロス
タバエリサ
タバワカンイチ
平良ジュリア
平良ローザ
平良フアナ
平良フアン
平良金城ルイス
平良平良フリオ
高江洲ヘンリー
高江洲フミ
高橋フィリックス
高良ミレネ
嵩原ヨシ子
タコサキハラアリシア
玉城上原フアンヘラルド
玉城全助
玉城ホセ
玉那覇春子
玉那覇ルイス
玉城マサカズ
玉城フアナ
玉城吉雄
玉城幸子
玉城康正
玉城アレハンドロ
玉城セサー
玉城ヨシコ
玉城エレナ
玉城フランシスコ
玉城美枝子
玉城アナ
玉城京子
玉城正一
玉城儀間ソフィア
玉城玉城ドミンゴ
田中マヌエラタツエ
タナカグレーシアンジェルヨシミ
谷本
タオタカコ
タサトユウセイ
田里シズエ
俵ツミダチェサー
ティルドガビノ
天願ミグエル
天願テレサ
天願フアノ
照喜名ミカ
照喜名シゲクニ
照喜名名博
照喜名清子
照喜名カタリーナ
照屋エミコ
照屋憲昭
照屋光子
照屋栄太郎
渡口サラ
渡口知花オルガ
渡口知花ペドロ
渡嘉敷桑江イサベル
徳森清田セプジオ
徳村ローザ
徳村オスカー
トミー山川オウガスト
鳥居エミコ
富山アサコ
当山リカルド
豊浜ジョージ
豊浜ゾイラ
土田テローマニュエル
土田テローマリノ
津波古弘
津波古好子
ツハリカルド
津覇屋良テオドロ
津嘉山カルロス
津嘉山イングリド
津嘉山小橋川デビクトリア
津嘉山津嘉山フンベルト
ツネシゲルイサ
ツツミカルメン
津嘉山ミチコ
上地ルイス
上地清子
上原良和
上原ケンゾ
ウエハラケンジ
ウエハラヨシコ
上間ハルコ
上間アマンド
上村アンヘラ
上江洲トヨコ
上江洲ハツコ
ウニハラヨシコ
運天秀子
運天エミコ
ウンテンフリア
上運天ツル
宇座アントニオ
宇座エリカ
バスデラマドローレス
ビラベルトマサキフアン
ビラベルトペレーズカルメン
ワガツマナカガワデエルサ
ワガツマシンドウパブロ
ワガツマシンドウペドロ
若林ハビエルフランシスコ
渡辺マルセラ
渡辺ホルヘ
ワタナベルイス
ヤベククレイド
屋我エミコ
屋宜盛繁
屋宜フアン
屋宜サンチャゴ
屋宜ロサマリア
屋宜エイコ
屋宜フミコ
屋宜ミヨ
屋宜フアナ
屋宜フリア
屋宜アラシロイザベル
屋宜又吉オルガ
屋嘉比フアン
屋嘉比エミコ
屋嘉比カルメン
屋嘉比フリオ
山川エクトル
山川静子
山川ウネアントニオ
ヤマニハオウガスト
ヤマニハマルガリータ
山入端カルメン
山入端喜新
山崎遠藤ロサ
山城善次
山内ロサリオ
山内シゲ子
屋良楚南エンリコ
屋良屋宜ローザ
与那嶺マツエ
与那嶺ジョージ
与那嶺アナ
与那嶺栄清
与那嶺シルビア
与那嶺カナ
与那嶺ルイス
ヨナミネネリ
与那城スミコ
ヨナシロ正一
与那城カミガローザ
与那城小橋川ジャン
吉村アルフレッド
吉永フリア
ヨシサトフリア
伊佐堀川テレサ
ユキ松城ルイス
ザキハラ安里ジョージ
ゼバロスミグエル
瑞慶覧長亀
瑞慶覧トヨ子
フアンギム

ベネズエラ

石川新助　石川万里

メキシコ

石津ホセ　古波蔵求　古波蔵忠　古波蔵美和子

古波蔵　裕　美
古波蔵　　健
村　上　えみこ
仲　程　アントニオ
仲　村　リカルド
仲宗根　貞　子
仲宗根　豊　美
仲宗根　沙緒里
仲宗根　英　吉
仲宗根　正　英
西　村　みなこ
ヌニェス　仲　村　イルマ
ヌニェス　サルバドル
大兼久　正　康
大兼久　貴美子
大兼久　　功
島　尻　　工
島　尻　明　美
高　良　英　樹
高　良　ノルマ
ベイラン　山　川　直　美
屋　宜　竜　三
屋　宜　康　子
山　川　喜久子

パナマ

ヒルベルト　ハエン

ニューヨーク

グンプレイン　キヌエ
ベネット　チャールズ
ボンガード　ジュンコ
カバラ　マイケル
カバラ　ミヨコ
知　花　和　子
知　念　サトコ
フィッシャー　　ヤスコ
八重子　ゲンバレラル
ガーランド　ミツコ
ガーランド　レベッカ
ガーランド　リナ
グランデル　ヨシコ
グラベリン　キヌエ
ヘイザー　カズコ
比　嘉　良　治
比　嘉　啓　子
比　嘉　貴　子
比　嘉　アドレイン
ハイオ　アケミ
ハイオ　テレサ
平　川　俊　子
ジング　ロバート
金　城　専　吉
金　城　カミ子
幸　喜　　新
前　川　昌　道
真栄城　美枝子
マーティン　俊　子
マーティン　ロニー
マーティン　ジョーン
マーティン　ハーレイ
松　川　重　一
松　川　節　子
ミンズ　ヨウコ
ミンズ　キヨコ
仲　地　政　夫
岡　嶋　清　子
奥　間　良　徳
大　城　　要
大　城　弘　子
セイ　バーバラ
セイ　ルベン
新　城　秀　機
城　間　勇　美
ストッケイタ　ユキ
鈴　木　アキラ
ターシ　定　子

ワシントンD.C

サチ
サチの母
知　念　テラー　キヨコ
チョ　ウォンスク
チョ　ノコス
チョ　アレックス
チョ　ジェイソン
チョ　ナオミ
クランス　メグミ
ダグラス　チエコ
ハラダ　スエコ
ホルト　八重子
ホルト　ダビド
ホルト　トーマス
ホルト　アンドレア
久　高　カツコ
クダカ　マサテル
クダカ　ア　ヤ
那　覇　トシコ
ニコルソン　サチコ
ニックス　アケミ
ニックス　ローン
ノワケ　フサコ
オールドフィールド　スエコ
ポペル　アーチ
ポペル　アーチ
ポペル　ジェセカ
ポペル　大　城　キヨミ
ソエレイ
ソエレイ　ボトビン
スタンドリッチ　竹　子
テーラー　ロバート
テーラー　ミ　コ
テーラー　ジェイムス
テーラー　ラッシェル
テーラー　ジュリアン
ウィーラー　サダコ
ウィーラー　ハツエ
山　口　ヘレナ　みどり

シカゴ

安　里　　昇
安　里　グレーン
ゴンザレス　上地ノブコ
ヘス　ノブコ
比　嘉　ジョージ
比　嘉　ペリー
平　田　健　治
本　圧　美佐子
嘉　数　　巌
キヌカン　ス　エ
ラフォーレスト仲西ハツコ
ラフォーレスト　レイ　ジミー
ラウソン　ジーン
メゼル　チ　ヨ
メゼル　レオン
ナカモト　トクヒデ
ナカモト　ツルコ
ペルキー　セツコ
ポター　ヒデコ
プレッチェル　エイコ
ローラ　ミエコ
サンダリン　ヨウコ
島　袋　トシコ
清　水　とし子
ステイン　ヤエコ
ステイン　ジョセフ
ステイン　ナタリア

ジョージア

安富祖　節　子
アイヤス　リチャード
アイリス　照　屋　末　子
キャンプ　高　良　ヨシ子
クラーク　キャサリン
砂　川　たつ子
カーノ　たつ子
名　護　和　江

コナーズ　キンバリー
コーチ　デメティア
コーチ　トミコ
仲宗根　文　子
ダレン　仲　村　喜代子
エスペイ　レイモンド
エティンガー　スキップ
カヨウ　ミサエ
安谷屋　俊　子
福　原　なつき
ジェラード　レベッカ　ジュン
ジェラード　リナ　キャサリン
ジェラード　又　吉　睦　子
キブンズ　平　良　順　子
ギブンズ　オリン
宮　城　ゴンザレス　隆　子
コームズ　具志堅　政　子
池　宮（米須）順　子
賀　数　敏　子
上　村　ガントナー　和　子
伊　佐　ケンプ　ツネ子
レニーガ　ヨリ子
ルイス　ドゥエイン
ナンシー　E　ルイス
牧　志　昌　子
又　吉　美代子
又　吉　サンダース　ツル子
又　吉　絹　子
比　嘉　ヨシ子
宮　城　康　子
仲　村　ジェームス　米　子
ルイス　ナンシー　エミコ
ネウトン　宮　城　英　子
玉　城　エツ子
小　川　米　子
大　城　百合子
パルマー　フィリップ
パンター　クレイグ
パンター　マイケル
玉　城　初　子
パウエル　フレディー
諸喜田　愛　子
宮　城　和　子
リード　ミッチェル
リード　マサコ
リード　島　袋　ミツ
リローバ　比　嘉　静　江
レム　ベティー
リチャードソン　安座間　文　子
涌　上　和　子
久　高　シゲ子
サンダー　ジェームス　デビッド
サックス　当　山　末　子
サックス　ローレンス
サックス　クリスティーン　スエ
サックス　スティーブン
サックス　ローレンス　アンドリュー
シャーキー　ジミー
シェルトン　喜友名　節　子
島　袋　武　子
ショーズ　ジェイン
小橋川　啓　子
山　川　康　子
ストロング　久　高　笑　子
平　良　順　子
パーマー　平　良　恵　子
ルイス　高江洲　佳代子
高　良　幸　栄
玉　城　エツコ
多和田　グラウンズ　ヨウコ
ウエダ　ヒデコ
ウェップ　スエ
ウェイク　スエ
ホワイト　アーネスト
ウィルハイト　ランディー
ウィルハイト　安次嶺　みち子
ウイリアムズ　ニナ　ト　シ
ウイリアムズ　久　高　トシ子
山　田　テルコ
山　城　トラウイック　静　子
与那覇　しず子

北　米（ロサンゼルス）

アレクサンダー　ヒデコ
新　垣　キ　ク
新　崎　智　貴
アサリ　ト　シ
アサリ　サンドラ
安　里　エートル
バーナーディ　ペドロ
ピットグレ　シゲコ
ブレナ　サダコ
カルドウエル　ジョン
カルドウエル　スミエ
キャッセイ　嘉陽田　ヒサエ
セルツ　キミコ
チャップリーデン　美智子
コンナー　セツコ
コナース　ウメコ
クランデル　ミノル
クルーズ　チヨコ
クルーズ　デイビット
ダウルト　チ　エ
ダウルト　タ　エ
ディリー　ウイリアム
ディリー　ジャニシー
土　井　ファイ　フミコ
FITHUGH　レイモンド
FIZHUGH　イクコ
フォン　ローランド
フレタッグ　ジュンコ
古　堅　ヤスシ
古　堅　キクコ
グラゼ　シズコ
具志堅　ユカリ
具志堅　芳　子
ハミルトン　キ　ヨ
ハーパー　H　ヒデコ
ハタケヤマ　ケンジ
ハタケヤマ　アケミ
ハタケヤマ　エ　ミ
ヘー　バルビー
ヘイディ　バフィブ
ヘンリー　キム
ヒガ　ハロルド
ヒガ　フミコ
比　嘉　ジンキ
比　嘉　利　春
ヒル　ミエコ
ホリヤマ　トシオ
ホシデ　ミサオ
ホバター　ミヨコ
ホバター　ホバム
ヒェグヘス　マサノリ
ハンター　ヒサエ
ヘットン　チエコ
イゲ　カイ　カズエ
イゲ　デビッド　ヒデジ
飯　田　リツコ
池宮城　サツキ
池宮城　エイコ
伊　佐　ハツエ
石　橋　ハルコ
石　田　敏　子
石　原　ハルオ
石　原　テルコ
石　嶺　ヒデオ
糸　村　トシコ
イワナガ　ミドリ
岩　田　ベティ
ジョンソン　ユリコ
ジョセフ　宮　里　ミツコ
ジョイス　ソナス
嘉　数　ハルコ
カミカワ　ミツ
神　山　修　旭
金　城　武　男
金　城　シゲノブ
キミ　ヘンリー
キム　カズミ
キモツキ　和　子
木　村　セツコ
金　城　ヨシオ
金　城　イサム
金　城　シズエ
金　城　ヨリコ
喜舎場　ノリコ
喜舎場　ツルコ
クルバー　パメラ
クルバー　ジョナサン
米　谷　シェリル
国　吉　シンギ
国　吉　エサン　ユウジ
ラングフォード　スコット
レンケ　フジコ
ロンガン　ウイリアム
ロンガン　ツハ　マキコ
メイソン　ジェイムス
メイソン　カイ
松　　ミサコ
松　　ケンネス
松　田　キャサリーン
宮　城　フミエ

宮 城 マモル
宮 城 タカコ
宮 城 ミヨコ
宮 平 オーガスト
宮 平 ローザ
宮 城 次 夫
宮 城 久 子
宮 里 ヨシコ
モリス ケイコ
ナカダ ミツエ
仲 田 レイモンド
ナカマ ケンネス
ナカマ スミ
仲 間 ジョージ アキラ
ナカモト ジャン
仲 本 リアン
仲 本 アーリソン
仲 本 スエコ ディリー
仲宗根 シズエ
ナカヤ ナンシー ナツコ
仲 座 マリコ
ナラハラ ソノエ
ネドゥドッグ ジーザス
ネドゥドッグ ハツコ
ニフボーンズ トシキ
ノビダ マキシミノ
ノビダ ミヨコ
ノゲン ドラ
ノゲン ジャイム
ノゲン エイキチ
ノナタ ミチコ
オ ダ マリー
大 野 ト ミ
奥 間 ナンシー
大 城 フミコ
大 城 アグネス
オオタ エイハチ
オールソー ヒノコ
パラデロ ツルコ
ペリー ヨシコ
フィリップス カツコ
フィリップス ジョン
ラデマン エミコ
ルッセル W カズコ
崎 原 ヨシコ
崎 山 ヨテツ リッキー
サンキー ミツコ
スチリング マリサ
スチリング トシコ
スクロエダー シゲコ
シャープ シズコ
シャープ マルシア
シャープ マーシャ
シ マ ミエコ
シ マ ハルアキ
島 袋 ヘンリー
島 袋 キャシー
島 袋 セイエイ
島 袋 ヨシコ
島 袋 テツロ
シモツ ヤスオ
新 城 ヨシミチ
城 間 テルコ
城 間 コ ユ
シュプレイ トミコ
スミス ユキコ
シニーダー エイコ
スタッフォード ミサコ
スタブローラキス ハツコ
スタブローラキス カーラ
スタブローラキス アンドリュー
スタブローラキス リンダ
スタブローラキス ラリー
スミダ カメヨ
スワーツ サヨコ
田 端 ベリー
田 端 ハツエ
平 良 シゲル
高宮城 ケイコ
高宮城 ワラス
高 良 ヒロコ
タクシ ヤスカズ
沢 岻 ミキ
玉 栄 ネイザン
玉 栄 グレース
玉 栄 昌 子
玉 栄 エドワード 正 一
玉 栄 庸 子
玉那覇 サムエル
玉那覇 カズコ
玉那覇 ジェームス
玉那覇 サチコ
玉 城 タ ケ
トーマス マーチン
トーマス スザーン
ティナ ヒュグヘス ハツコ
ティオミコ クリストファー
テョオミコ マーク
チチリガ シンディー
チチリガ アシュレイ
桃 原 マサオ
渡 口 千代子
渡慶次 ハヤ
トウマ セイイチ
トウマ スミコ
当 銘 サダオ
当 銘 ヨシヒロ
当 銘 ヤスコ
富 田 アサコ
トウヤマ グレース
トウヤマ スエミ
上 原 タミコ
上 間 カツコ
上運天 ツ ル
ヴィレイ マニュエル
ヴィレイ キミコ
ワード ミツヨ
ワード アリソン
ワード アシュレイ
ワード アリシア
ワード スエミ
ワード ナオミ
ワード ハルミ
ウエブナー ハルコ
ハイテイカー ハナコ
ホワイト ビル
ウィットフィールド ミツコ
ウィンドマス トシコ
屋比久 ヨシコ
屋嘉比 フロレンス アサコ
山 本 ケイコ
山 岡 すえ子
山 城 リリアン
山 城 リチャード
山 城 エイコ
山 城 ヒサコ
山 城 ゼンヂ
山 城 ミエコ
山 城 島 袋 ヒサコ
安 富 ミノル
安 富 ツグヨ
安 富 ベンジャミン
安 富 満 代
安 富 勉
与 儀 スケサダ
与 儀 ヨシコ
与 儀 セイユウ
与 儀 シズエ
与 儀 ヨシコ
与 儀 よし子
横 尾 ナオミ
横 尾 エミカ
与那嶺 ケイコ
与那嶺 キヨト
与那城 スエコ
ヤング ケオネ

北 加（サンフランシスコ）

アーティー サム
阿 嘉 レイモンド
阿 嘉 良 弘
新 垣 のりよし
新 垣 みねこ
新 垣 ゆ か
新 垣 チ ヨ
マリア バートラフ 宮 城
デービット バートラフ
バグノット チ ヨ
バグノット ビクター
ビクトール ボブノト
カネバリー トム
カネバリー ヨシコ
チャプマン ユ キ
クレモンズ キョウコ
コリンズ ミヨコ
コリンズ デドラ
ダーフィン ト ミ
福 光 静 子
福 本 通 子
福 本 裕 司
福 村 ヨウコ
ゲッツ ハーベイ
ゲッツ チエコ
呉 屋 ニール
ハーガー チエコ
ハーガー クラレンス

ハーガー　キャロル
ヘイリー　エミコ
ハンコックス　ト　ミ
ハリソン　ヨ　シ
初　子　ビボート
ヘンリー　ジュディー
ヘシキ　リカルド
比　嘉　利　香
東　　フランク
東　　エドワード
東　　小枝子
イラハ　ユキマサ
アービング　小　浜　京　子
ＪＡＩＯＵＥ　ヨシコ
カネシマ　サトコ
キミコ　レイト
キング　ヨシコ
キング　ポール
キング　清　野
キンマン　ミツコ
小橋川　　勉
古波蔵　英　雄
古波蔵　悦　子
小　浜　アンキチ
小　浜　ト　ミ
コーラー　小　浜　アキコ
クドリック　スミコ
黒　田　ちず子
リーチ　フミコ
レスニック　ロナルド
レスニック　チヨコ
リオイド　ツルコ
マジャラス　光　子
マックレラン　ノブコ
メリル　ミエコ
宮　平　マイケル
長　嶺　　健
仲　松　スミコ
仲宗根　光　峰
仲宗根　初　子　ビバーウト
中　谷　夏　子
西　平　　愛
ノビダ　ミヨコ
オノモト　サナエ
オノモト　ミッチェル
大　城　キ　ム
大　城　アグネス
ラサール　パーソンズ
プロウフ　上　原　ヨシコ
ラスブン　シズコ
リーカ　ヨネコ
リッチ　ト　ミ
リッチ　フレッド
リッチ　アルベルト
ラッセフォード　チズコ
ラッセフォード　ロス
酒　巻　セシリア　裕　子
坂　本　くみこ
シャタック　サンディー
シプレイ　吉　子
城　間　トーマス
城　間　良　子　ビー
城　間　宏　三
城　間　BEATRICE
スマート　アツコ
ストローメアー　スエコ
ストローメアー　ブラッド
末　吉　美　子
末　吉　業　純
スミオカ　ヨネコ
スミオカ　トシオ
スイカート　エイコ
タイラ　郁　子
沢　岷　キ　ミ
テイボーン　英美子
渡　口　トシエ
エイミー　アミー
ウラベ　ジェーン
ウラベ　エイコ
ウラベ　デニス
ウラベ　ドナルド
ウラベ　ディビット
ウエハラ　マツミ
ヴィリメック　マリコ
ヴィリメック　フランク
ワード　ヒロコ
山　田　ローイ
安　富　　勇
ヨ　ギ　チ　ヨ

サンディエゴ

新　城　友　広
ベイター　ハルコ
エイクトウッド　エミコ
比　嘉　アルバイン
カーンス　ドゥウェイン
カーンス　アキコ
米　須　エミコ
モーフィー　スミエ
オスナ　タカコ
新　城　ターミ
ストーン　ヤスコ
平　良　カルロス
ターラー　ミッシェル　トーマス
タイラー　タテコ　エリザベス
内　間　米　子
ウィウンスキー　ヨエコ

サクラメント

クリナード　キャティ
アバード　キ　ク
アーサー　ジョニー
バーニイス　ジェイミニ
ボイド　リアン
クラーク　エツコ
ダンディ　富士子
フィールド　キヨコ
フォーサム　和　枝
フォアサイド　カズエ
フォスター　ツルコ
福　井　美佐子
福　井　久　子
フクイ　セツコ
グラクザスキー　キャロル
ジョンキンス　千代子
ジョンソン　敏　子
カタニヤ　マサコ
キルゴー　文　子
キルゴー　ティナ
キング　澄　子
レーン　しな子
ラーセス　和子
リヴィングストン　マリア
マクギー　キヨコ
宮　城　栄次郎
モントガマリー　信　子
モントガマリー　リンウッド
マンチェ　ヨシコ
サンダース　美佐枝
サンダース　スミコ
シュルツ　キヨエ
シルバ　常　子
シルバ　ニコラス
スラグル　敏　子
スラグル　ルイス
ヴァンドリー　信　子
ワトソン　金　城　清　子
ワトソン　ライレス　フランシス

ワシントン

ブローズニヘン　ひろ子
ファセット　金　城　ひさ子
具志堅　宗　佑
伊　礼　トム　盛　一
伊　礼　節　子
マーティン　トーマス
ネイバー　とし子
ネイバー　スージー
ペレット　ひで子
ロビンズ　ノ　ブ
ロビンズ　アルバート
トーマス　佐久間　　保
佐久間　和　子
島　袋　トーマス
高　塚　サム
高　塚　セツコ
ウォルド　みよ子

ハワイ

スティベン　ケアベ
アバンガン　ソニー
アバンガン　ミ　ヨ
アバンガン　オードリ
阿　部　マイケル　一雄
阿　部　サツエ
阿　部　エリザベス　カズコ
阿　部　ローレンス
阿　部　山本　オドリー
ABELAYE　とよこ
安慶名　ジャニス
安慶名　マサル
安慶名　ベティー
アイリーン　トム
赤　嶺　セイトク
赤　嶺　静　子
アカミネ　ジョージ
アカミネ　リリー
秋　山　きよこ
アルバラド　ドロシー
アルバラド　ギルバード
新　垣　ヘレン
新　垣　きくえ
新　垣　タカシ
新　井　ケイコ
新　井　ミナコ
新　垣　ひろし
新　垣　エルシー
新　垣　デニス
新　垣　マリー　ハルコ
新　垣　ジェームス　ヤスイチ
新　垣　シゲコ
新　垣　ヤスオ
新　垣　カズコ
アラカキ　ヘンリー
新　川　ジュン　ヒロコ
アラカワ　キクエ
アラキ　ベンソン　ヒデオ
アラキ　ローレイン　サチコ
新　城　マツモリ
安　里　ヨシオ
安　里　キャロル
安　里　ヘレン
安　里　リヨド
安　里　カール
安　里　ローズ
安　里　チ　エ
安　里　シゲコ
安　里　タケオ
安　里　キトク
安　里　ツルコ
芦　沢　レベッカ
芦　沢　カール
阿波国　ヨシオ
阿波国　ベッシー
バン　アミー
ベラルド　エリザベス　ユキ
ベルト　ジェーン
バイアーズ　エレン　スミコ
キャンディラサ　ヘレン　ハツコ
ベンジャミン　カエターノ
知　念　リチャード
知　念　オスミ
知　念　　要
知　念　セツコ
知　念　テディ
チング　ローラ　サナエ
チョウ　キャロライン　イサコ
チュール　キャサリン
COLLIER　ERROL
コウツ　ボール
コウツ　アレックス　モリサコ
デマウロ　メイ
ドリスコル　シャロン
エベス　ダスティン
エベス　ベツィー　エツコ
エベス　よしこ　モンマ
エベス　アリソン
エレン　ガイ
エレン　ガイ　デラローザ
ユージェーン　トム
EVANS　ROY
FASSOU　DORTHY
フォング　ノーラン
フランクリン　ユウコ
フ　ジ　ジョイス
藤　井　ハルミ
藤　井　サダエ
藤　本　ヘレン
藤　谷　カリン　トミ
フクダ　ジェミース
福　田　ケイコ
フクハラ　ヒデヤス
フクハラ　サダコ
福　原　ユリコ
福　島　タケル
フクシマ　ト　ミ
船　越　ヨシオ
古　谷　ロバート　ケイイチ
古　谷　ビバリー　アサコ
冨　里　ロイ
フサト　マサイチ
ガブルイエル　ノブエ
ガキヤ　ハルコ
GALEAI　TALA
ゲーリッシュ　スー
儀　保　シゲル
儀　保　トシオ
儀　保　シズコ
ゴメス　ヘレン
ゴ　ヤ　ヨシコ　ジェーン
ゴ　ヤ　ヨシカズ
ゴ　ヤ　ニール　ヨシヒロ
ガーレオ　ミツコ
具志堅　サム
ハイリー　ジェスッレ
ハイツカ　リリアン
浜　田　バーニス
浜　田　ダブニー
浜　田　ジェームス
浜　田　ヤチヨ
ハルグチ　マーコ
長谷川　ベティー　トシコ
羽　城　リツヨ
林　　はる子
林　　ユキエ
比　嘉　デリー　タケゴロウ
比　嘉　エセル　ツル
比　嘉　スタンレイ　セイチ
比　嘉　レナ
比　嘉　トム　タケヨシ
比　嘉　ベティー　ウチマ
比　嘉　ウ　シ
比　嘉　鶴　子
比　嘉　とみ子
比　嘉　す　み
比　嘉　ロイ
比　嘉　コリーナ
比　嘉　ダグラス
比　嘉　ハリー
比　嘉　コウユウ
比　嘉　サリー
比　嘉　シゲル
比　嘉　トーマス
比　嘉　トミエ
比　嘉　ヘンリー
比　嘉　フジコ
比　嘉　タケジロウ
比　嘉　ワーレン
比　嘉　ケンネス
比　嘉　マサオ
比　嘉　ツヤコ
比　嘉　グラディース　マツエ
比　嘉　ノーマ　シズコ
比　嘉　ヒサオ
比　嘉　マーシャル
比　嘉　ハロルド　マサヨシ
東恩納　ナ　エ
外　間　コンラッド　イサム
ホカマ　セイアン
外　間　イサム
外　間　シェリー　ハツヨ
本　田　ジェーン
ホンジョ　ジョージ　エイコ
ホンジョ　ジョージ　タカシ
本　間　すえの
ホリミズ　フローレンス　ヤスコ
フバー　キ　ク
イチナガ　フレッド
イチナガ　ナンシー
イ　ゲ　カマド
イゲイ　ジャネット
イゲイ　フィリップ　ケイミン
伊　波　ケンイチ
伊　波　フ　ミ
伊　波　ベ　ン
伊　波　バイオレット
イ　ハ　エディス　シズエ
イ　ハ　ロイ　セイコ
池　原　イツエ
イケイ　ノーマン
イケイ　リチャード
イケイ　セイコ
稲　福　ナ　エ

稲嶺　ラーン　カズオ
稲嶺　ナオミ
イレイ　ロイ
イ　サ　グレース
伊佐　ゼンエイ
伊佐　タマヨ
イサラ　ヘンリー　ハジメ
石原　ハツコ
石原　ショウフク
石原　ロベルト
石井　ハルコ
石川　フミコ
石川　シズエ　S
石川　ワルター　S
石川　レックス
石川　省順
石川　シズコ
糸村　ショウイチロウ
糸村　アン
糸村　千代
ジョーンズ　タカコ
カジヒロ　シンシア　ミドリ
カカズ　クリスティー　エミコ
カカズ　シズエ
KAMAE KRISTIN K
カメヤ　チョゼン
カメヤ　ツルコ
カメヤ　デニス　シゲル
神原　シェリル
神谷　ナンシー
カネシロ　ミルズ　ヨシオ
カネシロ　カズミ
カネシロ　フレッド
カネシロ　ロバート
カネシロ　キクエ
カネシロ　ローズ
カネシロ　ハヤコ
カネシロ　ヨシコ
カネシロ　サダエ
カネシロ　カズコ
カネシロ　メルビン　ナオヤ
カネシロ　シゲマツ
カネシロ　キクエ
カネシロ　キシュン
カネシロ　ナツエ
カネシロ　マサイチ
カネシロ　マサコ
金城　センキチ
金城　カメ
金城　ジェーン
カネシロ　ジェーン
カネシロードイアビス　スエ
カンサコ　エレン
嘉手刈　ディーナ
カワタ　ローズ
KIAM　ラウラ
喜屋武　キヨトク
キダ　ニブコ
キカワ　ロベルト
吉川　ギルバート
キン　フミコ
喜納　アルフレッド
喜納　シゲコ
キノ　ポール
キノ　ロイ
キノ　シズエ
キシ　デービッド
岸本　ちずこ
北崎　わたる
北崎　アリス
キヤブ　ウォーリー
キヤブ　アニー
キヤブ　ケンネス
キヤブ　ブランチェ
キヨヒロ　ミツオ
キヨヒロ　ヘレン
キヨヒロ　ジェーン
小橋川　アリス　テルコ
小橋川　ハルコ
コバシカワ　シドニー
小林　バート
コウチ　ツルコ
コダマ　タモツ
古波蔵　ロドニー　タダシ
古波蔵　ノブヒデ
古波蔵　ドロシー
小池　エレン
小池　ケネス
古謝　ナンシー
コンノ　モナ
コンノ　ジュン
久場　エドワード　政行
久場　バーバラ
クバ　ランダル
クバ　ホリ　カレン
黒川　アキコ　ウエジョウ
桑江　リョゼン
桑江　カメド
カワザキ　タケコ
ラザー　バイオレット
リンデ　アケミ
リュー　ジェーン
リュー　フレッド
リウ　クリスチャン
リウ　ヘレン
リウ　マジョリエ
前城　ブライアン
マーティン　ラシェル　ヤエコ
又吉　ノブオ
又吉　イクコ
松田　ドリス
松田　ケル　キヨミ
松尾　シャーリー　アイコ
松島　ロス　ノブオ
松島　しげき
マエシロ　ボブ
マエシロ　キャロル
マクアフィートーコ　ベニー
ミギタ　サトシ
ミギタ　エレン
ミージョー　ギャリー
光田　ジョージ
光田　エミリー
ミツナガ　デニス
三浦　エレアンナー
三浦　ナンシー　マサエ
ミヤデ　ダル　トシ
宮川　タムリン
宮城　ジェーン
宮平　きよし
宮平　よしこ
宮平　ミシェル　ユキオ
宮平　ウェン　正
宮本　エドワード　エイイチ
宮里　セイエイ
宮里　マエ
宮里　ケンネス
宮里　えちこ
宮里　アルバート
ミヤシロ　モーリス
ミヤシロ　ジェーン
ミヤシロ　ロナルド　ヒデオ
ミヤシロ　シズコ
ミヤシロ　ゼンタロウ
ミヤシロ　デニース
ミズオ　マリーH
モア　アンナ
森宮　フローレンス
森元　信枝
モリサコ　ローレンス　イサオ
モリサコ　アリス　ヒガ
MULTI DALLIN H. P
村岡　グレン
村岡　トラビス
長嶺　きよの
ナガミネ　アキラ
ナガミネ　ヒデ
ナガミネ　マツ
ナガミネ　ルミコ
ナガミネ　ドロシー
ナガミネ　マサヤ
長嶺　マサタツ
NAHINU BERNADETTE
内藤　アリス
ナカ　ベッティー
仲田　マネイ
仲原　しげこ
仲間　エルジー
仲間　カルビン　ナオヤス
仲間　マサイチ
仲間　ライアン
ナカマ　トレシー
ナカマ　キヨコ
ナカマ　シゲミツ
名嘉真　マサル
仲間　トヨ
仲間　フェレント
ナカミネ　ヘレン
ナカミネ　マサユキ
ナカモト　リヨ
仲村　ジュディス
仲村　グレッグ
仲村　ヘレン
仲村　クリスティン
仲村　ハナ
ナカムラ　チャールズ
ナカムラ　リチャード
ナカムラ　ミノル
ナカムラ　ミチコ
仲村　マサル
中村　カメスケ
仲宗根　ロバート